

令和 5 年度 事業報告

人間を救うのは、人間だ。

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

目次

令和5年度 TOPICS	01
1 災害救護	03
2 国際活動	11
3 赤十字奉仕団	13
4 青少年赤十字	19
5 救急法等の講習	21
6 医療事業	25
7 看護師養成	27
8 血液事業	28
9 社会福祉事業	30
10 活動資金の募集	31
11 企業・団体とのパートナーシップ	42
12 事業実施体制	44
13 監査報告	45
決算報告	
資料編	

赤十字の誕生

スイス人のアンリー・デュナンは、1859年、イタリア統一戦争の激戦地ソルフェリーノで放置された4万人の死傷者に遭遇します。「傷ついた兵士はもはや兵士ではない。人間である。人間同士としてその尊い生命は救わなければならない」との信念のもと、村人たちと協力して懸命に救護にあたりました。そして、この体験を「ソルフェリーノの思い出」という本にまとめ、以下の必要性を訴えました。

- ①戦場の負傷者と病人は敵味方の区別なく救護すること。
- ②そのための救護団体を平時から各国に組織すること。
- ③この目的のために国際的な条約を締結しておくこと。

この思想がヨーロッパ各国に反響を呼び1864年に戦争犠牲者の保護・救済のためのジュネーブ条約が調印され、国際赤十字が誕生しました。



「ソルフェリーノの啓示」 東郷青児
(日本赤十字社蔵)

令和5年度 TOPICS

日頃、日本赤十字社長野県支部の活動に対しまして、関係者をはじめ、多くの県民の皆さまから多大なるご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことから、当支部においても、感染症対応にかかる措置や制限などを徐々に解除しながら、赤十字活動を進めてまいりました。

9月には、県民の皆さまに救急法の知識・技術の周知を図るとともに、健康・安全思想の普及を啓発するため、「第27回長野県赤十字救急法大会」を開催しました。

令和6年1月1日、石川県を中心に甚大な被害をもたらした能登半島地震災害が発生しました。当支部は、被災地となった第3ブロック支部の一員として、発災直後から医療救護班や災害対策本部要員等の派遣、救援物資の搬送、こころのケアなど、被災者を支援するため、切れ目のない活動を展開しました。

国際活動では、ウクライナやイスラエル・ガザ地区、台湾など、紛争や災害によって直面する人道危機に際し、苦しむ人々を経済的に支援する救援金の募集・受付など、国際赤十字の一員として、日本赤十字社の総合力を生かした人道支援活動を実施しました。

赤十字の理念である“人道”のもと、県民の皆さまから信頼される赤十字をめざし、取り組んだ活動をここに報告いたします。

被災者に寄り添い、息の長い支援を続ける



被災地への救援物資の搬送（石川県穴水町役場）



避難所を巡回する救護班（安曇野赤十字病院）

令和6年能登半島地震災害救護活動を実施

令和6年1月1日に発生した能登地方を震源とする地震は、石川県を中心に甚大な被害をもたらしました。多くの人々が避難生活を余儀なくされる中、長野県支部は、救護班計17班及び日赤災害医療コーディネイトチーム計5チームを現地へ派遣し、医療救護を実施したほか、避難者や被災地内の行政職員等（支援者）に対するこころのケアや石川県支部災害対策本部の運営支援、救援物資の搬送、義援金の募集・受付などに取り組みました。



被災者のけがを処置する救護班（長野赤十字病院）



避難所を巡回する救護班（川西赤十字病院）



被災地へ向かう救護班（飯山赤十字病院）



励ましの寄せ書き（日赤石川県支部）

健康・安全に関する知識と技術の普及を目指して



第27回長野県赤十字救急法大会

9月17日、上田市上田城跡公園体育館において、「第27回長野県赤十字救急法大会」を開催しました。隔年で開催してきたこの大会は、コロナ禍を経て、令和元年度以来、4年ぶりの開催となりました。大会には、県内各地から18チーム・計69人の選手が参加し、猛暑の中、熱中症に留意しながら、救急法講習で学んだ知識や技術を再確認して、大会に臨みました。

1 災害救護 組織力を結集して災害に備える

災害救護活動は、日本赤十字社法及び日本赤十字社定款に規定されている基本的業務です。また、日本赤十字社は災害対策基本法によって指定公共機関として位置付けられており、重要な役割を担っています。

長野県支部では、あらゆる災害に迅速に対応できるよう、県内各赤十字病院に医療救護班を常備するほか、被災地の医療ニーズの把握や医療救護班や他機関等との連携や調整を行う日赤災害医療コーディネーター及び同コーディネートスタッフを任命し、救護体制を整えています。

令和5年度は、1月1日に発生した能登半島地震災害において県内赤十字病院から医療救護班や日赤災害医療コーディネートチーム、こころのケア班等を派遣したほか、石川県支部災害対策本部へ支部職員を派遣し、本部業務等の支援を行いました。さらに避難所等で生活する被災者等へ配布するため、救援物資（毛布）1,750枚を石川県へ搬出しました。

また、今後起こりうる大規模災害に備え、救援物資の備蓄を増やすとともに、各種訓練や研修を通じて、円滑な救護活動が展開できるよう医療救護要員やこころのケア要員などの知識・技術の一層の向上に努めました。

(1) 災害救護活動の実施

ア 令和6年能登半島地震の概況

令和6年1月1日（月）、16時10分に発生した能登半島地震の概況は次のとおりです。

○地震発生状況

最大震度	震度7（石川県志賀町、輪島市）
規模	マグニチュード7.6
震源地等	石川県能登地方（輪島の東北東30km付近）深さ16km

○各地の震度（震度6弱以上）

震度	県名	市町村名
震度7	石川県	志賀町、輪島市
震度6強	石川県	七尾市、珠洲市、穴水町、能登町
震度6弱	石川県	中能登町
	新潟県	長岡市

○被害状況（令和6年4月12日現在 消防庁調べ）

区分	被害状況等
人的被害	死者245人、重傷者322人、軽傷者979人
住家被害	全壊8,581棟、半壊18,981棟、一部損壊88,436棟

イ 支部職員及び医療救護班等の派遣状況

(ア) 医療救護班の派遣

石川県内の避難所等へ医療救護班を派遣し、医療ニーズの調査や避難所で生活する住民への巡回診療等を行いました。

派遣元(施設名)	医師 (人)	看護師 (人)	薬剤師 (人)	主事 (人)	計 (人)	派遣期間
飯山赤十字病院	1	3	1	2	7	1月4日～7日
長野赤十字病院	1	3	1	3	8	1月9日～12日
	1	3	1	2	7	2月28日～3月2日
諏訪赤十字病院	2	3	-	2	7	1月11日～14日
	2	3	-	2	7	2月21日～24日
川西赤十字病院	1	4	-	2	7	1月20日～23日
安曇野赤十字病院	1	3	1	3	8	1月28日～31日
	1	3	-	2	6	3月8日～11日
下伊那赤十字病院	1	3	-	3	7	2月4日～7日
合計	11	28	4	21	64	



避難者の健康相談などを行う医療救護班
(川西赤十字病院)



他機関と連携し活動を行う医療救護班
(長野赤十字病院)



避難者のアセスメントを行う医療救護班
(安曇野赤十字病院)



避難所にて健康相談を行う医療救護班
(下伊那赤十字病院)

(イ) 日赤災害医療コーディネートチームの派遣

石川県内の保健医療調整本部等へ災害医療コーディネーター及びコーディネートスタッフを派遣し、被災地の保健医療ニーズを把握するとともに関係機関との連絡調整など、救護班の活動に関して医療救護の専門的観点から活動調整等を行いました。

派遣元(施設名)	コーディネーター (人)	コーディネート スタッフ (人)	計 (人)	派遣期間
安曇野赤十字病院	1	3	4	1月5日～8日
	1	3	4	2月7日～12日
長野赤十字病院	1	2	3	1月26日～29日
	1	2	3	2月16日～19日
諏訪赤十字病院	1	2	3	3月5日～10日
合計	5	12	17	

(ウ) こころのケア調整班及び活動班の派遣

石川県支部災害対策本部へこころのケアコーディネーター及び調整員(事務員)を派遣し、こころのケアのニーズ調査及び関係機関との連絡調整、こころのケア活動班の活動調整等を行いました。

また、避難所等にこころのケア要員を派遣し、ハンドケアや足浴などのリラクゼーションの実施や健康・身近な悩み相談など被災者や支援者に寄り添った活動を行いました。

<こころのケア調整班>

派遣元(施設名)	臨床心理士 (人)	調整員 (人)	計 (人)	派遣期間
諏訪赤十字病院	1	-	1	1月21日～29日
	-	1	1	1月26日～29日
長野県支部	-	1	1	2月15日～21日
	-	1	1	3月22日～28日
合計	1	3	4	

<こころのケア活動班>

派遣元(施設名)	指導者 (人)	要員 (人)	計 (人)	派遣期間
飯山赤十字病院	1	3	4	4月7日～12日



情報収集をするコーディネートチーム
(諏訪赤十字病院)



支援者に対しこころのケアを実施するケア要員
(飯山赤十字病院)

(エ) 石川県支部災害対策本部 支援要員の派遣

石川県支部災害対策本部へ支部職員を派遣し、被災状況・避難状況等の情報収集、災害医療コーディネートチーム及び医療救護班に対するブリーフィング等を行いました。

派遣元(施設名)	人員 (人)	派遣期間
長野県支部	2	1月18日～22日
	1	2月14日～20日
	1	3月8日～10日
合計	4	

(オ) 被災地医療機関の支援

地域医療を守るため、被災地の医療機関に看護師を派遣し、入院患者への対応やケア全般のサポートを行いました。

派遣元(施設名)	看護師 (人)	場 所	派遣期間
安曇野赤十字病院	1	市立輪島病院	1月17日～22日
	1		1月22日～27日
	1		2月16日～21日
諏訪赤十字病院	1		2月1日～6日
飯山赤十字病院	1		2月1日～6日
	1		2月6日～11日
下伊那赤十字病院	1		2月6日～11日
計	7		

(カ) 避難所運営の支援

内閣府が主導する「避難生活支援・防災人材育成エコシステム」の構築に向けて、避難生活アドバイザーとして、避難所における避難生活を支援しました。

派遣元(施設名)	派遣数 (人)	場 所	派遣期間
長野県支部	1	七尾市ほか	2月21日～27日

ウ 救援物資の搬出

避難所等で生活する被災者へ配布するため、救援物資を搬出しました。

搬出日	救援物資名	数量 (枚)	搬出先
1月4日	毛布	1,750	石川県支部(穴水町役場)

エ 義援金の受付

被災された方に配分する義援金を受け付けました。お預かりした義援金の全額は、被災地の配分委員会を通じて、被災者にお届けしています。

○名 称：令和6年度能登半島地震災害義援金

○受付期間：令和6年1月4日～12月27日

(2) 災害時緊急支援体制の強化

ア 医療救護班

災害や大事故が発生した際、直ちに被災地や事故現場へ医師・看護師等を派遣するため、県内の各赤十字病院に医療救護班 16 班を常備しています。この医療救護班は、医師 1 人、看護師長 1 人、看護師 2 人、主事 2 人の計 6 人を基準として編成しています。

イ 日赤災害医療コーディネーターチーム

被災地における医療ニーズの把握や被災状況などの情報収集、他の関係機関との連絡調整を行うため、各赤十字病院に日赤災害医療コーディネーターチームを配置しています。

チームは、災害医療コーディネーター(医師) 1 人、コーディネータースタッフ(看護師、事務職員等) 3～4 人で編成しており、令和5年度は、コーディネーターを 1 人、コーディネータースタッフを 3 人増員し、体制を強化しました。

ウ 血液供給要員

迅速な血液製剤の輸送のため、県内赤十字血液センターの各所に血液供給要員を配置しています。

エ 防災ボランティア

被災者に対する応急救護・復旧等の活動を支援する防災ボランティアを組織しています。

(3) 各種訓練の実施

ア 支部合同災害救護訓練

9月2日、安曇野赤十字病院を主会場に、日本赤十字社長野県支部合同災害救護訓練を実施しました。糸魚川-静岡構造線断層帯北側を震源とする大地震によって安曇野市が甚大な被害を受け、市内には多数の傷病者や避難者が発生したとの想定のもと、県内赤十字施設の医療救護班や血液供給要員、災害医療コーディネーターチーム、安曇野市赤十字奉仕団や長野県赤十字救護隊、長野県柔道整復師会赤十字奉仕団などのボランティア、安曇野市や豊科消防署の職員など約 200 人が参加しました。

訓練では、発災後ただちに支部災害対策本部を設置し、県内の赤十字施設と協働して災害対応を進めるとともに、被災地内の安曇野赤十字病院では、医療救護班やボランティアによる多数傷病者へのトリアージ、応急手当などの医療救護を行うほか、市内三郷地区に開設された避難所では、医療救護班による巡回診療、施設のアセスメントなど被災者に寄り添った活動を展開しました。



医療救護所で診療を行う救護班



傷病者を搬送する赤十字ボランティア

イ その他の救護訓練

訓練名	実施日	場 所	参加人員 (人)
長野県地震総合防災訓練	令和5年9月1日	長野市	3
長野県総合防災訓練	10月22日	中野市	11

(4) 各種研修の実施

ア 医療救護班研修

医療救護班を対象に、災害時における医療救護班の役割や活動内容を理解するとともに、基礎行動や救護資機材の使用方法的確認及び災害診療記録やJ-SPEED等、医療救護活動において活用する様式やアプリケーションに関する知識と技術の向上を図ることを目的に実施しました。

実施日	場 所	参加人員 (人)
令和5年9月30日	長野県支部	41



災害診療記録の記載方法を学ぶ救護班



救護資機材の使用方法的確認

イ こころのケア研修

災害時に被災者や救援者が受けるストレスを緩和するための「こころのケア」は、赤十字が行う災害救護の重要な活動として位置づけられています。

こころのケア活動の一層の充実を図るため、医療救護班要員等を対象に研修を実施し、被災者が被る心理的影響の特性やその対応方法等について理解を深めました。

地 域	実施日	場 所	参加人員 (人)
中南信	令和5年6月8日	諏訪赤十字病院	29
東北信	15日	長野県支部	31



グループワーク



被災者に寄り添う傾聴の演習

ウ 救護員としての赤十字看護師研修

災害時に救護員の立場と役割を理解し、的確に判断・行動ができる赤十字の救護看護師を養成するため、県内赤十字病院の看護師を対象に研修を実施し、災害救護に関する最新の知識・技術の習得を図り、質の高い救護看護師の育成に努めました。

地 域	実施日	場 所	修了者数(人)
中南信	令和5年8月7日、24日、25日	諏訪赤十字病院	14
東北信	9月6日、7日、9日	長野赤十字病院	32

エ その他の救護研修

研修名	実施日	場所	参加人数(人)
災害医療コーディネート研修(第1回)	令和5年7月8日～9日	本社	1
災害医療コーディネート研修(第2回)	9月23日～24日	本社	1
こころのケア指導者養成研修	10月11日～12日	本社	1

(5) 救護資機材等の整備

今後起こり得る大規模災害に備えて、災害救護用資機材と被災者の支援、県民の安心・安全に役立てるための救援物資を整備しました。

ア 令和5年度に整備した救護資機材

品 名		数 量	配備先
簡易ベッド(折畳み寝台)		85	県内赤十字施設
救護員作業衣	夏用(上・下)	各163	県内赤十字施設
	冬用(上・下)	各163	
	作業帽	118	
	ベスト	79	
ヘッドライト		180	県内赤十字施設

イ 令和5年度に整備した救援物資

品 名	数 量(枚)
毛 布	540

(6) 各種イベント・スポーツ大会等における臨時救護活動の実施

県内各地の体育大会等の行事に、医師・看護師等を派遣し、救護活動を実施しました。

派遣年度	派遣延日数 (日)	派遣救護員(人)			
		医 師	看護師等	主事等	合 計
令和5年度	14	4	27	7	38
(前年度)	(273)	(29)	(211)	(22)	(262)

(7) 義援金の受付

国内で発生した災害の被災者に対し、生活を支えるための義援金を受け付けました。寄託された義援金は、被災地の義援金配分委員会を通じ、全額被災者に届けられます。

名 称	災害発生年月	件数 (件)	金額 (円)
令和5年5月能登地方地震災害義援金	令和5年5月	83	609,596
令和5年台風第2号等大雨災害義援金	6月	52	399,112
令和5年6月30日からの大雨災害義援金	6月	60	422,342
令和5年7月7日からの大雨災害義援金	7月	118	781,985
令和5年台風第6号災害義援金	8月	46	297,927
令和5年台風第13号災害義援金	9月	49	395,966
令和6年能登半島地震災害義援金	令和6年1月	696	240,144,441
合 計		1,104	243,051,369

(8) 見舞金品の配分

県内で発生した豪雨、地震、火事などの被災者に対し、「長野県支部災害被災者見舞規程」に基づいて、見舞金及び見舞品を配分しました。

年 度	見舞金 (円)	毛布 (枚)	緊急セット(個)	安眠セット(個)
令和5年度	130,000	116	0	6
(前年度)	(60,000)	(68)	(6)	(6)

2 国際活動 世界の災害・紛争への対応

日本赤十字社は、世界 191 の国や地域に広がる国際赤十字・赤新月社連盟の一員として、世界各地で発生する紛争・災害で苦しむ人々に対する緊急救援や長期的な開発協力に取り組んでいます。

また、看護師等の国際救援・開発協力要員の養成を行うとともに、現地へ派遣しています。

(1) 国際救援

海外救援金の受付状況

区 分	件 数 (件)	金 額 (円)
中東人道危機救援金	28	61,783
バングラデシュ南部避難民救援金	32	44,017
アフガニスタン人道危機救援金	45	85,692
ウクライナ人道危機救援金	355	6,474,494
トルコ・シリア地震救援金	152	6,201,938
2023年アメリカ・ハワイ火災救援金	43	265,091
2023年モロッコ地震救援金	32	195,419
2023年リビア洪水救援金	25	180,442
2023年アフガニスタン地震救援金	19	91,051
イスラエル・ガザ人道危機救援金	72	367,643
地域無指定の救援金	5	51,379
NHK 海外たすけあい	1,203	2,688,243
合 計	2,011	16,707,192

(2) 開発協力

ア レバノン シリア難民等の水衛生管理支援事業

2011年にシリア紛争が始まって依頼、隣国のレバノンでは、現在も150万人以上の難民が劣悪な環境での避難生活を余儀なくされています。人々の生活環境やニーズの変化を調査し、シリア難民や地域の脆弱な人々の健康に寄与するために、診療所の水と衛生環境の改善に取り組みました。



感染対策を施し病院患者の子どもと接する
赤新月社ボランティア©シリア赤新月社



子どもたちに手洗いの仕方を教えるレバノン赤十字社の
ボランティアとスタッフ©日本赤十字社

イ アジア・大洋州 給水・衛生災害対応キット整備事業

洪水やサイクロンなどの自然災害が発生しているアジア・大洋州地域において、災害時の給水・衛生活動のニーズが高まっています。災害への緊急即応体制整備の一環として、「給水・衛生災害対応キット」の配備に取り組むとともに、現地の赤十字社スタッフやボランティアを対象に、資機材を活用できる人材育成を支援しました。



浄水作業に取り組む研修参加者（マレーシア）



災害時の緊急対応の様子（バングラデシュ）

ウ 東アフリカ地域3カ国（ブルンジ、ウガンダ、タンザニア）の地域保健強化事業

東アフリカは、気候変動を原因とする洪水や干ばつ等の自然災害、内紛や政情不安による難民の発生や人口移動、エボラ出血熱をはじめとする感染症など様々な問題を抱える地域です。

東アフリカ地域の国々において、ラジオ放送やコミュニティ訪問を通じて、水・衛生、栄養、防災、感染症予防などの啓蒙活動を実施するとともに、住民が主体となって地域保健を強化する活動を支援しました。

3 赤十字奉仕団 人に寄り添い支えあう

赤十字奉仕団は、赤十字が使命とする人道的な諸活動を実践しようとする人々によって結成された組織です。

県内 90 の赤十字奉仕団では、赤十字思想の普及や活動資金の募集、災害救護の実施や準備、救急法・健康生活支援講習等の普及、献血の推進、社会福祉活動など、地区分区と連携しながら様々な分野で活動しています。

(1) 地域赤十字奉仕団の活動

市町村（地区・分区）ごとに組織されている地域奉仕団では、防災意識を高めるための防災研修会の開催や防災訓練への参加、公共施設の清掃や社会福祉施設での労力奉仕、赤十字活動資金の募集などを実施しています。

ア 赤十字奉仕団中央委員会（本社主催）・第3ブロック支部赤十字奉仕団委員長会議

中央委員会では、新たな防災教材(KAG)や全国の活動事例を共有するとともに、ブロック支部委員長会議では、各県の活動状況や奉仕団が抱える課題等について情報交換を行いました。

イ 赤十字奉仕団長野県支部委員会・赤十字奉仕団幹部研修会

県支部委員会では、今後の奉仕団活動に対する問題点などを共有するとともに、県内6会場で地域奉仕団の委員長等を対象に開催した幹部研修会では、グループワークにより、災害時に奉仕団員としてできることや日頃から準備しておくこと等について、考えを深めました。



意見を出し合うグループワーク



新たな気づきを共有するグループ発表

ウ 防災啓発研修会

地域奉仕団員が災害に強いまちづくりの推進に貢献するとともに、防災啓発活動を牽引する人材を育成するための研修会を7月に長野県支部で開催しました。県内各地から奉仕団員59人が参加し、学習教材「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん!」を使用した子ども向けと大人向けの展開方法を学びました。

エ 防災教育事業指導者養成研修会

住民への防災・減災に関する知識・意識等の普及、災害発生時の応急対応にあたるリーダー層の育成等を目的とする研修会を10月に開催しました。当支部において初となるこの研修には、ボランティア7人、職員3人が受講し、実践的な指導方法を習得しました。

(2) 青年赤十字奉仕団の活動

18歳からおおむね30歳までの学生や社会人で組織されている青年赤十字奉仕団と大学や専門学校などの学内で組織される学生赤十字奉仕団では、防災啓発活動や献血推進活動のほか、SNSを利用し、同世代に向けた赤十字思想の普及活動を進めています。



包装食作りを通じた交流



活動や課題等の意見交換



小児患者へクリスマスカードを届ける活動
(長野県青年赤十字奉仕団)



諏訪湖畔清掃活動
(諏訪赤十字看護専門学校学生赤十字奉仕団)

(3) 特殊赤十字奉仕団の活動

救急法指導員、水上安全法指導員、柔道整復師などの有資格者等で組織されている特殊赤十字奉仕団では、災害時の救護活動の支援や平時の防災訓練、各種講習での指導等、長野県赤十字歴史資料館や龍岡城五稜郭の案内、赤十字思想を普及するための紙芝居の制作、録音図書の作製など、各団の専門技術を活かし様々な活動に取り組んでいます。



能登半島地震 救援物資の搬出作業
(長野県赤十字救護奉仕団)



長野県赤十字歴史資料館 見学者案内
(長野県赤十字広報奉仕団 資料館案内班)



水上で人命を救う方法等の指導
(長野県赤十字水上安全奉仕団)



紙芝居上演による赤十字の普及活動
(長野県赤十字広報奉仕団 紙芝居班)

<参考>

(1) 地域赤十字奉仕団活動状況

区 分	主な奉仕活動の内容	活動回数(回)	活動延人員(人)
災害救護に関する奉仕	被災者の救護及び避難等のための独自の活動	93	799
	関係機関の救護活動への協力	9	53
	災害時の炊き出し	9	95
	被災地の防疫及び復旧作業	1	3
	義援金品の募集と受付事務	134	8,868
	救援物資の整理・輸送・配分	20	86
	一品供出等による救護物資の備蓄	44	495
	防災訓練（炊き出し等）	329	7,156
	救急法・幼児安全法・防災啓発プログラム	232	3,949
	プール等における臨時救護	0	0
	その他	86	535
	小 計	957	22,039
保健衛生に関する奉仕	献血運動への協力	41	203
	不潔場所の浄化と消毒	169	1,111
	公共施設の清掃	573	8,408
	衛生思想の普及	33	644
	保健所等の関係機関による行事への協力	6	63
	巡回診療等の手伝い	10	15
	健康生活支援講習の普及	35	434
	その他	33	330
小 計	900	11,208	
社会福祉に関する奉仕	にこにこ健康教室	54	581
	各種施設への労力奉仕等	154	1,347
	点訳及び視覚障害者への読書奉仕	36	180
	子供会臨時保育所等による地域の一般児童保護	27	78
	敬老会等での老人福祉	141	844
	要保護世帯への援助	91	297
	関係機関による各種行事への協力	169	1,633
	配食サービス	27	791
	その他	171	817
小 計	870	6,568	
赤十字思想普及奉仕	赤十字思想の普及（広報活動を含む）	104	814
	支援者募集及び活動資金収納	458	7,452
	日赤支部地区分区の事務奉仕	108	311
	日赤主催行事への援助	100	426
	地方自治体や関係団体等による行事への協力	260	1,645
	奉仕団運営のために必要な事務奉仕	675	4,853
	その他	75	1,668
	小 計	1,780	17,169
合 計	4,507	56,984	
前年度	4,854	42,975	

(2) 各奉仕団の事業実施状況

ア 地域赤十字奉仕団

内 容	実施日	場 所
赤十字奉仕団長野県支部委員会常任委員会	令和5年4月21日	長野県支部
	令和6年2月21日	
赤十字奉仕団長野県支部委員会	令和5年4月21日	長野県支部
地域赤十字奉仕団研修推進委員会	令和5年4月12日	長野県支部
	6月16日	
	7月12日	
	10月18日	
令和6年3月5日		
赤十字奉仕団中央委員会	令和5年6月1日～2日	本社
地域赤十字奉仕団幹部研修会	令和5年6月21日	長野県支部
	6月23日	佐久市
	6月27日	岡谷市
	6月28日	塩尻市
	7月6日	伊那市
	7月7日	飯田市
防災啓発研修会	7月21日	長野市
第3ブロック支部赤十字奉仕団委員長会議	令和5年9月6日～7日	岐阜県

イ 青年赤十字奉仕団

内 容	実施日	場 所
青年赤十字奉仕団全国協議会	令和5年5月13日 令和6年2月23日	本社 (Web)
第3ブロック支部 青年赤十字奉仕団代表者会議	令和5年6月10日～11日	福井県
長野県青年赤十字奉仕団連絡協議会・交流会	令和6年3月9日	松本市
赤十字運動月間呼びかけ 防災啓発活動 献血推進活動 リーダーシップ・トレーニングセンター (スタッフ参加) 地域活動への参加(諏訪湖上清掃ほか) 入院患者へのメッセージカード等の作成 海外たすけあい募金活動 能登半島地震災害義援金募集活動	通 年	県内各地

令和5年度 事業報告 | 赤十字奉仕団

ウ 特殊赤十字奉仕団

(ア) 救護隊

内 容	実施日	場 所
第53回長野びんずる臨時救護	令和5年8月5日	長野市
長野県支部合同災害救護訓練	9月2日	安曇野市
第27回長野県赤十字救急法大会	9月17日	上田市
第36回諏訪湖マラソン大会臨時救護	10月22日	諏訪市
能登半島地震災害救援物資の搬出・積込	令和6年1月4日	松本市
赤十字救急法基礎講習会 救急員養成講習会	令和5年5月13日 5月20日・21日	上田市
	6月10日 6月17日・18日	長野市
	9月2日 9月9日・10日	上田市
	10月21日 10月22日・28日	木曾町
	11月11日 11月18日・19日	上田市
	11月26日 12月2日・3日	下諏訪町
	12月2日 12月9日・10日	南箕輪村
	令和6年2月3日 2月10日・11日	長野市

(イ) 水上安全奉仕団

内 容	実施日	場 所
善光寺平学童安全水泳大会運営スタッフ	令和5年9月3日	長野市
赤十字水上安全法救助員Ⅰ養成講習会	9月23日・24日 10月1日	長野市

(ウ) 安全奉仕団

内 容	実施日	場 所
赤十字救急法研修会	令和5年4月2日 5月14日 7月30日 9月3日 10月1日 11月12日 12月3日 令和6年2月4日	松本市
赤十字救急法基礎講習会 救急員養成講習会	令和5年6月24日 7月1日・8日	松本市

令和5年度 事業報告 | 赤十字奉仕団

(エ) 大町市救急員会

内 容	実施日	場 所
赤十字救急法基礎講習会 救急員養成	令和5年 4月 8日 4月 15日・16日	大町市
大町市地震総合防災訓練	令和5年 8月 26日	大町市
第40回大町アルプスマラソン臨時救護	令和5年 10月 15日	大町市

(オ) 青少年赤十字賛助奉仕団

内 容	実施日	場 所
第3ブロック青少年赤十字賛助奉仕団連絡協議会	令和5年 6月 19日～20日	長野県
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会役員会	7月 10日～11日	本社
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	7月 11日～12日	本社
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会役員会	令和6年 3月 12日～13日	本社
青少年赤十字指導者協議会への協力 加盟校登録式への講師派遣 青少年赤十字プログラム普及 賛助奉仕団報発行	通 年	県内各地

(カ) 柔道整復師会奉仕団

内 容	実施日	場 所
第20回小布施見にマラソン臨時救護	令和5年 7月 16日	小布施町
第53回長野びんずる臨時救護	令和5年 8月 5日	長野市
長野県支部合同災害救護訓練	令和5年 9月 2日	安曇野市

(キ) 広報奉仕団

内 容	実施日	場 所
歴史資料館の案内、勉強会、清掃奉仕 (長野県赤十字歴史資料館案内ボランティア班)	通 年	長野県赤十字 歴史資料館
紙芝居の作成・上演、絵本の贈呈 (飯田市赤十字奉仕団上郷分団紙芝居班)		飯田市 ほか
五稜郭であいの館の案内、清掃奉仕 (龍岡城五稜郭保存会案内ボランティア班)		佐久市 ほか

(ク) 音訳奉仕団

内 容	実施日	場 所
自主講習会	通 年	松本市
全国音訳ボランティアネット研修会	令和5年 4月 12日	オンライン
全国音訳ボランティアネット代表との交流会	令和5年 5月 26日	安曇野市
音訳ボランティアセミナー	令和5年 10月 3日	松本市
朗読セミナー	令和5年 12月 2日	松本市

4 青少年赤十字 生きる力を育む

青少年赤十字は、児童・生徒が赤十字の精神に基づいて、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中で「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標と、主体性を育むための「気づき、考え、実行する」という態度目標を掲げ、長野県教育委員会をはじめ、教職員のご理解とご協力を得ながら、各学校の中で展開しています。

小・中・高等学校及び特別支援学校を合わせた210の加盟校においては、校内をはじめ、地域の人々との関わりや心のふれあいを大切にしながら、人権問題や防災・減災への取り組みなど、幅広い分野で活動しています。

令和5年度は、支部主催のリーダーシップ・トレーニングセンターを開催（小・中学校の部、高校の部）したほか、本社主催の国際交流事業など、各種行事が再開されました。児童・生徒は、周りの人や地域のために出来ることを考え、自ら進んで活動しました。

(1) 加盟状況

区 分		小学校	中学校	高等学校	盲・養学校	合 計
加盟校数 (校)	令和5年度	66	73	69	2	210
	(前年度)	(67)	(71)	(69)	(2)	(209)
メンバー数 (人)	令和5年度	20,972	21,181	4,049	38	46,240
	(前年度)	(19,955)	(21,110)	(2,324)	(50)	(43,439)

※ 令和5年度 新規加盟校（2校）千曲市立戸倉上山田中学校、長野市立松代中学校

(2) 研究推進校の設置

長野県教育委員会と協議し、青少年赤十字加盟校の中から小学校1校、中学校1校の計2校を研究推進校に指定しました

指定年度	学校名	研究内容
令和4・5年度	松本市立鎌田中学校	多様な生徒に多様な学びの場を保障する学校 ～生徒に学びを委ねる授業づくり (授業のユニバーサルデザイン化)～
令和5・6年度	佐久市立中佐都小学校	【探求的な見方・考え方をはたらかせ】 自ら課題をみつけ、自ら考え、 実行する学びの在り方



自家発電の実験
(松本市立鎌田中学校)



地域のゴミ拾い活動
(佐久市立中佐都小学校)

(3) リーダーシップ・トレーニングセンターの開催

青少年赤十字メンバー（児童・生徒）のリーダーシップ養成を目的とした「リーダーシップ・トレーニングセンター」については、小学校・中学校の部、高等学校の部を開催しました。参加した児童・生徒は、赤十字思想に触れながら、自主・自律の心を養いました。

区 分	開催日	場 所	参加校数 (校)	参加児童 ・生徒数(人)
小学校	令和5年8月1日	長野県支部	2	12
中学校	8月1日		1	4
高等学校	8月2日～3日		4	19
合 計			7	35



炊き出し
(小学校・中学校の部)



段ボールベッド制作 (防災ワーク)
(高等学校の部)

(4) 主な事業実施状況

内 容	実施日	場 所
青少年赤十字指導者協議会総会	令和5年5月26日	長野県支部 (参集・Web)
第3ブロック青少年赤十字指導者協議会長研究会	6月2日	Web形式
青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	6月30日	本社
青少年赤十字研究推進校発表会	9月22日	松本市立 鎌田中学校
青少年赤十字指導者協議会役員会	12月1日	Web形式
青少年赤十字指導者協議会研修会	令和6年2月9日	Web形式
青少年赤十字スタディー・プログラム	3月22日～26日	山梨県山中湖村 東照館

5 救急法等の講習 今、できることがある

「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という赤十字の使命に基づき、とっさの手当てや日常生活での事故防止など、健康安全に関する知識・技術の普及と啓発を行うため、地区分区やボランティア等のご協力のもと、県内各地で各種赤十字講習を開催しています。

令和5年度は、コロナが5類になったことに伴い、延期をしていた「第27回長野県赤十字救急法大会」を4年ぶりに開催しました。また、指導員養成研修会を開催し、新たな救急法指導員24人と健康生活支援講習指導員15人を養成したほか、指導員として必要な知識・技術を再確認し、指導スキルの維持・向上を図ることを目的とした救急法フォローアップ研修を開催しました。



救急法

事故防止や手当ての基本、胸骨圧迫や人工呼吸の方法、AED（自動体外式除細動器）を用いた電気ショック、止血の仕方、災害時の心得等の知識と技術を習得できます。



水上安全法

水と親しみ、水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法などの知識と技術を習得できます。



幼児安全法

乳・幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当、かかりやすい病気と発熱・けいれんなどの症状に対する手当などの知識と技術を習得できます。



健康生活支援講習

誰もが迎える高齢期を、健やかに生きるために必要な健康増進の知識や高齢者の支援・自立に向け、役立つ介護技術を習得できます。

(1) 各種講習会の開催状況

講習区分		資格者の養成			短期講習		計	
		実施(回)	受講者数(人)	養成者数(人)	実施(回)	受講者数(人)	実施(回)	受講者数(人)
救急法	基礎講習	84	1,582	1,576	496	11,293	644	14,016
	救急員養成	64	1,141	1,141				
水上安全法	I	1	15	15	0	0	1	15
	II	0	0	0				
健康生活支援講習		4	40	40	28	836	32	876
うち 災害時高齢者生活支援		—	—	—	24	705	24	705
幼児安全法		7	88	88	48	1,001	55	1,089
合計		160	2,866	2,860	572	13,130	732	15,996

(2) 支部主催の各種講習会

講習区分		開催日	場 所	受講者数(人)
救 急 法	基 礎 講 習	令和5年4月8日	大 町 市	14
		5月13日	上 田 市	17
		5月28日	松 川 町	25
		6月10日	長 野 市	17
		6月24日	松 本 市	19
		9月2日	上 田 市	17
		10月7日	塩 尻 市	11
		10月21日	木 曾 町	9
		11月11日	上 田 市	19
		11月26日	下 諏 訪 町	18
		12月2日	南 箕 輪 村	20
		令和6年2月3日	長 野 市	15
		救急員養成講習	令和5年4月15日、16日	大 町 市
	5月20日、21日		上 田 市	13
	6月3日、4日		松 川 町	14
	6月17日、18日		長 野 市	17
	7月1日、8日		松 本 市	16
	9月9日、10日		上 田 市	16
	10月8日、22日		塩 尻 市	9
	10月22日、28日		木 曾 町	8
	11月18日、19日		上 田 市	17
	12月2日、3日		下 諏 訪 町	14
	12月9日、10日	南 箕 輪 村	20	
令和6年2月10日、11日	長 野 市	14		
水上安全法	救助員Ⅰ養成講習	令和5年9月23日、24日 10月1日	長 野 市	15
健 康 生 活 支 援 講 習	支援員養成講習	令和5年7月8日、9日	安曇野市	10
		9月23日、24日	諏 訪 市	14
	短 期 講 習	令和5年5月17日	安曇野市	3
幼 児 安 全 法	支援員養成講習	令和5年6月10日、11日	安曇野市	8
		8月3日、4日	諏 訪 市	8
	短 期 講 習	令和5年5月21日	安曇野市	9
		6月13日	諏 訪 市	17
		9月14日	松 川 町	3

(3) 第27回長野県赤十字救急法大会

救急法講習会で学んだ知識・技術を再確認するとともに、赤十字救急法及び赤十字思想をより広く普及することを目的に9月17日、上田市上田城跡公園体育館を会場にして開催しました。県内各地から参加した18チーム69名の選手の皆さんが「三角巾リレー」と「総合演習」に出場し、日頃の練習の成果を発揮しました。



選手宣誓



三角巾リレー



総合演習



総合演習

(4) 若年層（児童・生徒）に対する救急法講習の推進

長野県教育委員会の協力のもと、県内の小・中・高等学校において、救急法の受講を通じて、他者への思いやりやいのちの大切さを学ぶことができる「児童・生徒のためのBLS短時間プログラム」を実施しました。

また、赤十字思想の普及・啓発を図るため、保健体育カリキュラムに応急手当が含まれている県内すべての中学2年生を対象に、一次救命処置（BLS）の方法をデザインしたクリアファイルを配布しました。



(5) 救急法指導員の養成

救急法指導員養成講習会を開催し、新たに24人の指導員を養成しました。

開催日	場 所	合格者(人)
令和5年12月11日・12日・16日・17日・18日	長 野 市	24



一次救命処置



骨折の手当

(7) 健康生活支援講習指導員の養成

健康生活支援講習指導員養成講習会を開催し、新たに15人の指導員を養成しました。

開催日	場 所	合格者(人)
令和5年11月29日・30日、12月1日・3日・4日	諏 訪 市	15

(8) 各講習指導員研修会の開催

講習	開催日	場 所	受講者数(人)
水 上 安 全 法	令和5年9月10日	長 野 市	5
健康生活支援講習	令和6年3月2日	諏 訪 市	64
幼 児 安 全 法	3月7日	長 野 市	43

※救急法講習指導員研修は、能登半島地震の災害救護対応により、開催中止

(9) 救急法指導員向けフォローアップ研修の開催

赤十字救急法指導員として必要な知識・技術を再確認し、指導スキルの維持・向上を図ることを目的に県内2会場で開催しました。

開催日	場 所	受講者(人)
令和5年7月3日	諏訪市	26
7月7日	長野市	26



実技の復習

(10) 救急法指導員資格継続適性審査

※能登半島地震の災害救護対応により、中止しました。

6 医療事業 質の高い医療の提供を

赤十字病院は、医療法における公的医療機関として、救急医療や癌などの高度専門医療、生活習慣病の予防や高齢社会での在宅医療、へき地医療を積極的に行うなど、地域に根ざした医療を提供するとともに、安全・安心な医療環境を確保するための様々な取り組みを実施しています。

新型コロナウイルス感染症の教訓を生かし、院内感染及び医療事故の防止の対策を行いながら通常診療の充実に努めました。また、日々変わりつつある様々な医療ニーズに対応するため、医療DX化の推進によりさらなる医療の質の向上を図りました。

能登半島地震災害においては県内赤十字病院から医療チームを派遣し、救護活動を行うなど赤十字の特色を生かした活動を実施しています。

(1) 患者受入数

病 院	入院患者数 (人)		外来患者数 (人)		救急患者数 (人)			
	延人数	1日平均	延人数	1日平均	時間内	時間外	深夜	合計
長 野	206,905	565	341,056	1,409	2,888	11,767	3,205	17,860
諏 訪	147,986	404	226,530	936	5,686	8,127	2,053	15,866
安曇野	88,957	243	101,226	418	4,221	2,445	941	7,607
飯 山	69,647	190	76,001	314	2,558	2,967	332	5,857
下伊那	16,911	46	58,808	241	350	53	28	431
川 西	23,700	65	13,742	57	157	217	14	388
合 計	554,106	1,513	817,363	3,375	15,860	25,576	6,573	48,009
(前年度)	(538,322)	(1,476)	(839,214)	(3,453)	(15,567)	(24,753)	(6,117)	(46,437)

(2) 主な施設の整備状況

病 院	整備状況
長 野	口腔外科病棟処置室・病室改修工事、生殖医療センター新設工事、非常用発電機(ECB) 交換工事、HCU/EICU 医師宿直室改修工事、骨髄移植センター空調設備更新工事、入退院センター改修工事、病棟車イス用トイレ設置工事、栄養課業務用温蔵庫・スチームコンベクションオープン更新
諏 訪	中央監視装置更新(段階1) ※次年度繰越、ICU 陰圧化改修工事
安曇野	低温プラズマ滅菌機改修工事、手術室ジェットウォッシャー改修工事、冷蔵コンテナ改修工事、大型冷蔵庫交換、ブラストチラー交換
飯 山	治療用空気除湿装置更新工事、非常用発電機修繕工事、消雪用井戸洗浄工事、高圧引込設備更新工事、キュービクル・非常照明用直中電源盤更新工事
下伊那	北棟受水槽更新、職員通用口工事(自動ドア化・段差解消)
川 西	職員通用口ドア交換工事

(3) 主な医療機器等の整備状況

病 院	整備状況
長 野	血管造影撮影装置 (2 台)、人工心肺装置、生殖医療センター関連機器 (倒立型リサーチ顕微鏡ほか 13 点)、内視鏡システム、末梢血管治療用レーザーシステム、放射線部門情報管理システム、内視鏡カメラシステム (3 台)、全自動錠剤分包機/錠剤一包化監査支援システム、総合呼吸機能検査装置、超音波診断装置 (4 台)、多用途透析用監視装置 (6 台)、血液浄化装置、高周波手術装置、人工呼吸器 (4 台)、医用テレメータ/12 人用
諏 訪	血管撮影装置 (シングル及びバイプレーン)、ポリグラフ (2 台)、造影剤自動注入装置 (2 台)、全自動調剤分包機、脳波計システム、減圧沸騰洗浄機、4K 内視鏡カメラシステム、電動ベッド (50 台)、ビジネスプロジェクター及び専用ホワイトボード (2 式) 等
安曇野	病院総合情報システム、CT 用造影剤自動注入装置、超音波画像診断装置、血液浄化用装置、透析水作成装置、電解質分析装置、監査システム搭載調剤台付散薬分包機、システム生物顕微鏡、高速・高解像度バーチャルスライドスキャナー、運動負荷血圧監視装置、病理診断ネットワークシステム、心臓リハビリシステム、エルゴメーター
飯 山	一般 X 線撮影間接変換 F P D 装置、全自動尿統合型分析システム、自動ガラス封入装置、自動染色装置、パラフィン包埋ブロック作製装置、大型滑走式マイクローム、上部消化管用経鼻スコープ、自動視野計、スペキュラーマイクロスコープ、医用テレメータ、生体情報モニタ
下伊那	X 線骨密度測定装置、眠り SCAN
川 西	全自動錠剤分包機、電動ベッド (10 台) スリットランプ、全自動散薬分包機、心電計薬剤部門システム

(ア) 長野赤十字病院 血管造影撮影装置 (2 台)

最新技術に対応した機能が追加された装置に更新したことで、カテーテル検査、血管内手術の安全性・確実性の向上を図りました。



機 器 名	血管造影撮影装置	血管造影撮影装置
型 式 等	Alphenix Sky	ARTIS icono D-Spin
整備年月日	令和 5 年 5 月 31 日	令和 5 年 10 月 17 日
充 当 財 源	105,600 千円 (自己資金)	237,600 千円 (自己資金)

(イ) 諏訪赤十字病院 血管撮影装置 (シングル及びバイプレーン) の更新

現有機の経年劣化に伴い、シングル及びバイプレーン双方とも最新の血管撮影装置に更新導入しました。最新型は高精細ディスプレイを搭載しており、より精緻・鮮明な画質が得られるとともに、放射線量低減効果もあり、患者及び医療スタッフの双方にメリットが享受できます。



機 器 名	血管撮影装置 (シングル及びバイプレーン)
整備年月日	令和 5 年 8 月 30 日
充 当 財 源	シングルプレーン 74,800 千円 (自己資金) バイプレーン 58,084 千円 (自己資金) 32,116 千円 (補助金)

7 看護師養成 すべての人に寄り添う心を

諏訪赤十字看護専門学校では、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という赤十字の使命に基づき、豊かな人間性を育みながら看護に関する幅広い能力を備え、保健医療や国内外の医療救援活動など広く社会に貢献できる赤十字看護師を養成しています。

災害時を想定した救護演習や赤十字救急法の習得、諏訪赤十字病院での臨床実習を通じた実践的な看護学の学習のほか、「赤十字活動論」など看護の中で人権や人間の尊厳について考える赤十字ならではの特色ある教育を行っています。

(1) 諏訪赤十字看護専門学校

諏訪赤十字看護専門学校(大正 12(1923)年開校)は、これまでに 2,737 人の卒業生を輩出しており、令和5年度は新入生として 31 人の学生を迎えました。入学生は3年間の勉学に励みながら国家資格を獲得し、看護師として広く活躍することが期待されています。



戴帽式



看護学生による災害救護演習



臨床による授業



卒業式

(2) 日本赤十字豊田看護大学の支部長推薦

令和6年度入学生として長野県支部からの推薦者2人が、中部圏で唯一の赤十字看護大学である日本赤十字豊田看護大学(愛知県豊田市)に合格しました。

また、令和5年度に看護師養成課程を修了した卒業生は、県内の赤十字病院(諏訪1人、飯山1人)に就職しました。

これまでに、同校の卒業生110人が県内赤十字病院に勤務し、活躍しています。

(日本赤十字豊田看護大学卒業生の県内赤十字病院への就職状況) (人)

長野	諏訪	安曇野	飯山	下伊那	合計
39	42	12	14	3	110

8 血液事業 献血で助かる命のために

赤十字血液センターでは、病気やケガで輸血を必要とする人のため、皆さまに献血をお願いするとともに、検査・製剤化された血液を医療機関へお届けしています。

献血された血液は、血液型検査や各種感染症検査を行った後、厳重な品質管理のもと、安全性の高い輸血用血液製剤として24時間体制で医療機関に供給しています。

また、少子高齢化が進む中、将来にわたり血液を安定確保するため、若年層への献血の呼びかけ、献血の理解と意識向上のための献血セミナー及び研修を積極的に開催するとともに、「ラブラッド会員制度」を活用した事前予約献血の推進により、効率的で効果的な事業運営に取り組んでいます。

(1) 血液センター別の献血者数

(人)

区 分		長野センター	献血ルーム (長野)	献血ルーム (松本)	松本事業所	合 計
目標人数		16,882	23,020	20,260	15,088	75,250
献血 種別	200mL	58	354	499	54	965
	400mL	16,667	9,112	8,416	15,922	50,117
	成 分	0	12,923	11,665	0	24,588
献血者数計		16,725	22,389	20,580	15,976	75,670
達成率 (%)		99.1	97.3	101.6	105.9	100.6
前年度献血者数		16,518	21,877	20,634	15,506	74,535

(2) 献血 Web 会員サービス「ラブラッド」

血液センターでは、安全性の高い血液製剤を迅速かつ安定的に供給するため、献血にご協力いただいた皆さまに「ラブラッド」への入会を案内し、電子メールで次回献血可能日やキャンペーン等をお知らせしています。



(3) 原料血漿の確保

血漿分画製剤を含むすべての血液製剤を国内献血によって確保するため、厚生労働省から示された目標量の確保に努めています。

(4) 学生献血キャンペーンの開催

長野県学生献血推進連盟「結（ゆい）」が、県内の商業施設において献血サマーキャンペーン（7月）及びクリスマスキャンペーン（12月）を行いました。街頭で若年層献血への協力を広く呼びかけるとともに、献血に協力いただいた皆さまへ記念品を贈呈する等のボランティア活動に取り組みました。



サマーキャンペーン（イオンスタイル上田）



クリスマスキャンペーン（アピタ飯田店）

(5) 「#いのちをつなぐ声 献血推進 PROJECT トークライブ in 長野」を開催

令和5年12月17日、JR長野駅東西自由通路において「いのちをつなぐ声 献血推進 PROJECT トークライブ in 長野」を開催しました。500人を超える来場者が訪れる中、輸血経験があるフリーアナウンサーの笠井信輔さんから講演いただき、献血の必要性と現状、献血意欲の喚起を図りました。

また、減少している若年層への献血啓発のため学校訪問等を積極的に行うとともに、地方自治体と連携した献血セミナーを開催するなど、年間を通じて献血者の安定確保に取り組んでいます。



トークライブ in 長野



献血セミナー

9 社会福祉事業 安心で元気な社会を目指して

超高齢社会を迎える日本では、介護や生活支援を必要とする高齢者が増えているにもかかわらず、生活を支える体制が十分ではありません。また、地域住民同士のつながりが希薄になることにより、子育てや介護に不安を感じ、地域から孤立する家庭が増えています。

赤十字は、社会的な支援を必要とする方々が個人の尊厳を持って、その人らしい自立した生活を送ること、また、誰もが安心して元気に生活できる社会を目指して、社会福祉事業を行っています。

(1) 松本赤十字乳児院

令和5年度は、長野県から「里親養育包括支援事業」を受託して3年目を迎える里親支援機関として、引き続き、里親の募集、マッチング、委託後の支援まで一貫した里親支援に取り組んだほか、「信州松本圏域・新しい育みプロジェクト」(松本児童相談所、松本市・塩尻市・安曇野市、松本赤十字乳児院)に参画し、官民協働による里親支援や地域の在宅支援に取り組みました。

また、新型コロナウイルス感染症の流行に留意しながら、地域に向けた各種事業に取り組みました。

ア 制度別利用状況 (入所定員 18人)

制 度	実人数 (人)	延日数 (日)
入 所	19	4,376
一 時 保 護	22	646
ショートステイ	65	241
合 計	106	5,263



夏の水遊び

イ 入所乳幼児の年間理由別入所者数 (人)

虐 待	家族疾病	家庭環境	未 婚	児疾病	家 出	その他	合 計
7	1	10	0	1	0	0	19

ウ 事業実施状況

事業内容	開催回数 (回)	参加人数 (人)
マタニティ教室	4	8
わくポケ親子広場	1	7
里 親 交 流 会	4	40
養 育 支 援 訪 問	160	160
里 親 相 談 会	8	78



里親相談会

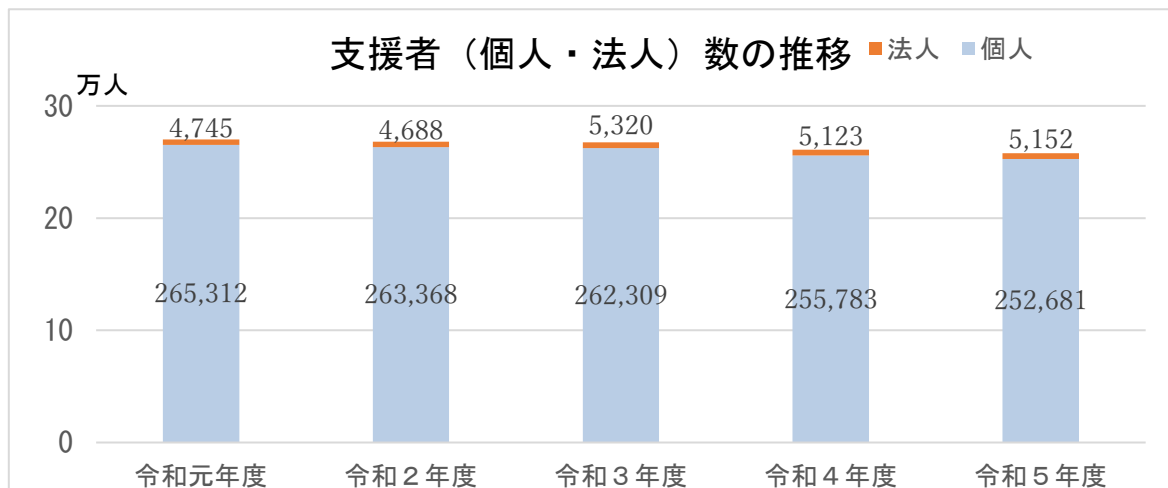
10 活動資金の募集 救いを託されている

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」赤十字活動は、県民の皆さまからご寄付いただく活動資金が財源であり、地区区分をはじめ、自治会や奉仕団のご理解とご協力を得ながら募集しています。募集に際しては、赤十字活動をご理解いただけるよう広報紙を作製して配布するとともに、戸別訪問を基本としながら、口座振替やクレジットカード決済など、利便性の高い方法の利用も推進するとともに、法人の皆さまに加え、個人にダイレクトメールを初めて送付しました。

また、赤十字活動の理解促進とご協力への感謝を伝えるため、「活動資金御礼・報告チラシ」を作製し、地区区分を通じて、県民の皆さまへ配布しました。支援者（会員・協力会員等）は、総数 257,833 人、活動資金は総額 324,630,463 円となりました。

(1) 支援者の状況

種 別	令和5年度末	令和4年度末	増・減
個人(人)	252,681	255,783	△3,102
法人(社・団体)	5,152	5,123	29
合 計	257,833	260,906	△3,073



(2) ダイレクトメールの発送

発生が懸念される大規模災害に備え、救護体制の一層の強化を図るとともに、救護資機材や救援物資の整備を推進するため、法人・団体の皆さまにダイレクトメールを送付し、赤十字活動資金へのご協力をお願いしました。その結果、112社から計9,660,000円のご協力をいただき、備蓄用の毛布や救護員用作業衣などを整備することができました。



備蓄用毛布

(3) 日赤活動資金の募集実績

区 分	目標額 (千円)	実績額 (円)	実績額内訳 (円)				前年度実績額 (円)
			市町村受付	口座振替	クレジットカード	DM	
長野市	57,324	45,265,531	44,111,081	972,000	182,450		47,108,527
松本市	38,360	23,073,357	22,051,357	371,000	331,000	320,000	24,791,085
上田市	22,852	11,125,950	10,737,950	87,000	195,000	106,000	12,632,932
岡谷市	6,963	6,203,510	6,045,510	7,000	41,000	110,000	6,145,298
飯田市	14,104	13,928,299	13,855,299	55,000	18,000		14,807,304
諏訪市	7,695	7,097,356	5,903,356	120,000	187,000	887,000	7,578,515
須坂市	6,873	4,716,112	4,524,112	50,000	128,000	14,000	6,034,473
小諸市	5,961	5,609,375	5,381,375	218,000	10,000	-	5,735,165
伊那市	9,820	7,391,699	7,049,699	53,000	87,000	202,000	7,950,774
駒ヶ根市	4,772	3,413,950	3,142,950	27,000	21,000	223,000	3,850,550
中野市	5,706	5,773,022	5,602,022	65,000	106,000	-	5,864,528
大町市	3,790	3,212,550	3,113,550	99,000	-	-	3,505,080
飯山市	2,514	1,912,867	1,857,867	-	55,000	-	1,907,144
茅野市	8,410	5,082,272	4,898,272	116,000	68,000	-	5,320,943
塩尻市	9,920	6,936,480	6,208,480	692,000	36,000	-	7,506,323
佐久市	14,166	11,344,936	10,935,936	359,000	50,000	-	11,658,547
千曲市	7,871	10,834,890	10,736,890	20,000	48,000	30,000	11,086,046
東御市	3,924	3,835,797	3,790,797	27,000	18,000	-	4,018,950
安曇野市	13,170	12,331,200	12,008,700	56,000	136,000	130,500	12,975,859
小海町	618	1,419,500	1,379,500	-	40,000		1,445,365
佐久穂町	1,320	1,463,046	1,463,046	-	-		1,504,300
川上村	497	537,300	537,300	-	-		530,100
南牧村	395	332,700	332,700	-	-		334,000
南相木村	138	346,000	346,000	-	-		372,000
北相木村	103	154,700	154,700	-	-		164,023
軽井沢町	3,613	4,296,061	2,443,061	63,000	1,790,000		2,620,483
御代田町	2,452	2,680,030	2,650,030	30,000	-		2,773,800
立科町	897	1,208,100	1,208,100	-	-	-	1,251,200
長和町	757	1,236,200	1,207,200	5,000	24,000		1,292,200
青木村	513	669,760	669,760	-	-		681,167
下諏訪町	2,761	2,433,685	2,428,685	5,000	-		2,668,896
富士見町	1,964	2,145,758	1,789,758	56,000	300,000	-	2,016,773

令和5年度 事業報告 | 活動資金の募集

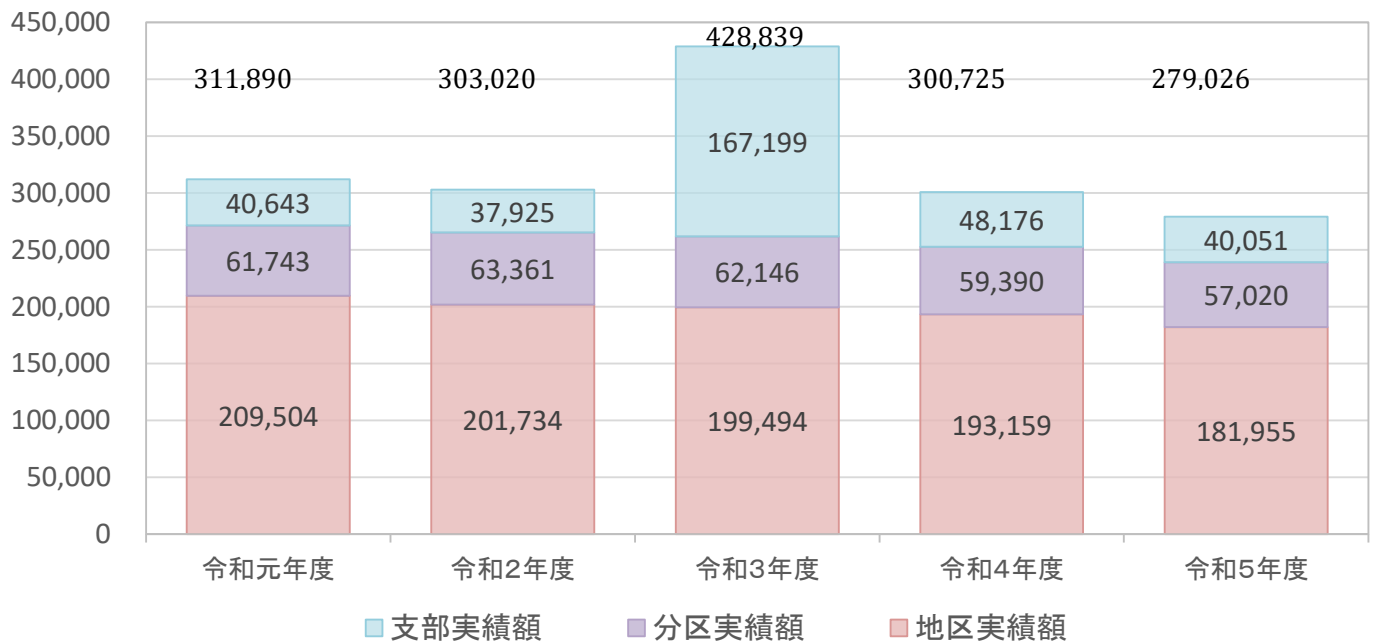
区 分	目標額 (千円)	実績額 (円)	実績額内訳 (円)				前年度実績額 (円)
			市町村受付	口座振替	クレジットカード*	DM	
原村	1,068	931,088	859,088	-	72,000	-	884,800
辰野町	2,610	2,648,030	2,613,030	-	35,000		2,684,894
箕輪町	3,573	3,391,613	3,316,613	75,000	-		3,500,100
飯島町	1,217	2,283,810	2,219,810	-	64,000		2,297,411
南箕輪村	2,403	1,644,458	1,621,458	2,000	21,000		1,694,283
中川村	582	729,001	699,001	-	30,000		704,001
宮田村	1,218	1,497,400	1,485,400	-	12,000		1,473,400
松川町	1,572	1,504,000	1,484,000	-	20,000	-	1,571,000
高森町	1,570	989,045	989,045	-	-	-	1,018,094
阿南町	490	571,199	571,199	-	-		597,752
阿智村	717	893,602	888,602	-	5,000		759,635
平谷村	62	38,000	38,000	-	-		53,000
根羽村	125	150,000	150,000	-	-		156,000
下條村	398	617,800	617,800	-	-		622,000
売木村	79	139,130	139,130	-	-		151,220
天龍村	171	290,500	290,500	-	-		325,000
泰阜村	198	256,000	256,000	-	-		271,500
喬木村	685	775,000	775,000	-	-		788,000
豊丘村	767	461,608	461,608	-	-		515,439
大鹿村	149	197,700	197,700	-	-		208,700
上松町	615	1,148,850	1,148,850	-	-		1,184,576
南木曾町	532	689,400	689,400	-	-		758,500
木曾町	1,601	1,691,892	1,691,892	-	-	-	1,821,959
木祖村	344	375,500	375,500	-	-		399,400
王滝村	119	248,400	248,400	-	-		272,186
大桑村	500	625,801	625,801	-	-		622,980
麻績村	315	305,251	305,251	-	-		330,150
生坂村	214	319,500	319,500	-	-		324,000
山形村	1,091	414,978	412,978	-	2,000		1,294,000
朝日村	522	533,950	529,950	4,000	-	-	582,396
筑北村	548	729,360	729,360	-	-		777,100
池田町	1,227	1,293,350	1,275,350	18,000	-		1,495,050
松川村	1,235	1,245,600	1,229,600	-	16,000	-	1,265,600

令和5年度 事業報告 | 活動資金の募集

区 分	目標額 (千円)	実績額 (円)	実績額内訳 (円)				前年度実績額 (円)
			市町村受付	口座振替	クレジットカード*	DM	
白馬村	1,222	925,072	899,072	2,000	24,000	-	984,000
小谷村	371	711,800	711,800	-	-	-	598,010
坂城町	2,259	2,862,900	2,801,900	45,000	16,000	-	2,967,270
小布施町	1,325	673,580	588,580	75,000	10,000		698,950
高山村	848	662,500	662,500	-	-		723,000
山ノ内町	1,451	1,478,283	1,460,283	18,000	-	-	1,594,521
木島平村	521	408,288	408,288	-	-		434,149
野沢温泉村	392	422,094	385,094	-	37,000		380,121
栄村	219	254,500	254,500	-	-		321,000
信濃町	1,034	1,119,425	1,119,425	-	-		1,135,775
飯綱町	1,303	1,536,124	1,529,124	7,000	-		1,517,222
小川村	315	335,020	335,020	-	-		323,905
市 計	244,195	189,089,153	181,955,203	3,394,000	1,717,450	2,022,500	200,478,043
町村計	55,805	59,943,242	57,020,242	405,000	2,518,000	-	60,736,356
市町村計	300,000	249,032,395	238,975,445	3,799,000	4,235,450	2,022,500	261,214,399
支部扱		29,994,349	-	-	-	-	39,510,508
指定事業海外救援金		1,573,489	-	-	-	-	6,918,619
小 計(①)		280,600,233	238,975,445	3,799,000	4,235,450	2,022,500	307,643,526
施設扱計(②)	-	44,030,230	-	-	-	-	196,551,498
合 計(①+②)	-	324,630,463	-	-	-	-	504,195,024

(千円)

日赤活動資金（支部・地区・分区）の推移



(4) 表彰

日赤活動資金へのご協力や赤十字事業の進展に尽くされた方を表彰いたしました。

表彰区分		表彰基準		個人 (人)	法人 (社・団体)	合計	
活動資金	紺綬褒章	500万円以上 (個人)		3	0	3	
		1,000万円以上 (法人)					
	厚生労働大臣感謝状	100万円以上 500万円未満 (個人)		7	1	8	
		300万円以上 1,000万円未満 (法人)					
	社資功労感謝状		金色有功章受章後 50万円以上		14	18	32
	有功章	金色	50万円以上		20	3	23
		銀色	20万円以上		15	14	29
小 計				59	36	95	
役 職	有功章	金色	在職年数 6年以上 ほか		1	0	1
		銀色	在職年数 3年以上 ほか		0	0	0
	小 計				1	0	1
協賛委員	有功章	金色	在職年数 10年以上		0	0	0
		銀色	在職年数 5年以上		0	0	0
	小 計				0	0	0
奉仕団員等 奉仕者	業務功労感謝状		金色有功章受章後 活動年数 10年以上		0	0	0
	有功章	金色	活動年数 20年以上		0	0	0
		銀色	活動年数 15年以上		4	0	4
	小 計				4	0	4
献 血 者	厚生労働大臣表彰状		活動年数 30年以上 (個人) 活動年数 20年以上 (団体) 成分献血、400ml 献血の推進		0	1	1
	厚生労働大臣感謝状		活動年数 20年以上 (個人) 活動年数 10年以上 (団体)		0	8	8
	県献血推進協議会長表彰		献血思想の普及等が顕著な 個人・団体		0	10	10
	有功章	金色	献血回数 100回以上		131	0	131
		銀色	献血回数 70回以上		186	0	186
	小 計				317	19	336
合 計				381	55	436	

(5) 地区分区事務担当者等との連携強化

支部と地区分区の円滑な連携と意思疎通を図るとともに、双方が一体となって活動資金の確保に取り組むため、例年、夏季に開催していた担当者会議を地区分区訪問に代えるほか、地区分区主催の募集会議への出席、冬季には地区分区の担当課長及び担当者との会議を開催し、各地域の実情や課題など状況把握と共有に努めました。

区 分	開催日	会 場	参加人数
地区分区 事務担当課長会議	令和5年12月15日	長野県支部	36
地区分区 事務担当者会議	令和6年2月19日 22日 28日 3月7日 8日	長野県支部 塩尻市保健福祉センター 佐久穂町生涯学習館 伊那市防災コミュニティセンター 飯田合同庁舎	66

(6) 広報活動

赤十字事業へのご協力と活動資金の確保には、赤十字への理解を深めていただくことが必要であることから、5月の赤十字運動強化月間に合わせ、赤十字活動の広報を重点的に行っています。

ア 赤十字広報強化期間（4～9月）

(ア) テレビCMの放映（「危機を前に、人は弱い。」（本社制作 ※30秒素材））

放 送 局：テレビ信州（TSB）、長野朝日放送（ABN）、信越放送（SBC）、長野放送（NBS）



①赤十字は、動いてる！



②は～！広い！



③救援物資を備蓄している倉庫になります。



④すごい量！



⑤こちらで防災について考えていただいています。



⑥ふ～ん！



⑦災害時でなくても活動してらっしゃるんですね。



⑧私たちの活動は、みなさまのご支援が必要です。



⑧災害時は、すぐに救護に行きます。



⑩知らなかった。赤十字が365日活動するには私たちの力が必要なんだ。



⑪一緒に救える。



⑫日本赤十字社

(イ) テレビ番組への出演

放送局	番組名	放送時間
長野朝日放送 (ABN)	いまだキ!	令和5年 9月6日 (水) 13:45~13:54
長野放送 (NBS)	ふるさとライブ	10月5日 (木) 15:20~15:40

(ウ) 新聞広告の掲載 (信濃毎日新聞・中日新聞・長野日報)

広告名	掲載回数
シリーズ広告	4回 (4・5・6・7月)

イ 赤十字施設におけるイベント

県内赤十字施設では、5月8日 (世界赤十字デー) や5月12日 (看護の日) を中心にイベントを開催し、広く一般の方々に赤十字事業へのご理解とご協力を求めるとともに、地域住民との交流や健康に役立つ各種講座を実施しています。

施設名	イベント名	実施日	内容
長野赤十字病院	赤十字週間	令和5年 5月8日 ～12日	赤十字活動 PR のための院内デジタルサインを用いた展示、中央ホール展示、院長・看護部長・事務部長による赤十字活動の紹介院内放送、ライトアップ
	がんと向きあう週間	9月4日 ～8日	ライトアップ、院長による院内放送、中央ホールブース設置、パネル展示
	一日看護師体験	8月1日	看護師業務体験、レポート見学
	クリスマス関連	12月1日 ～24日	イルミネーション設置、小児病棟でのクリスマスカード配布
	病院祭代替事業	令和6年 3月～	院内の各部署の紹介を展示 (院内デジタルサイン、壁面掲示、ホームページを用いて掲載)
	がん治療センター オンライン市民公開講座	令和6年 3月～	YouTube によるがん情報の発信
	世界緑内障週間	3月11日 ～15日	建物をグリーンライトアップ
諏訪赤十字病院	中学生職場体験	令和5年 8月1日	諏訪地域中学生対象の職場体験
	高校生職場体験	8月8日	中南信地区、一部山梨県の高校生対象の職場体験
	一日看護師体験	8月9日	将来看護職を目指す学生を対象に、職場紹介や看護体験の発表、ディスカッションを実施
	第17回市民公開 がん講演会	8月20日	「がんの放射線治療を学ぶ」
	ホスピス緩和ケア週間 2023	10月12日	除菌ウェットティッシュ配布、緩和ケアセンターフレット配布、管理栄養士による栄養相談 (当該期間 (10/8～10/14) 内は、エントランスに冊子・パンフレットを常設)

諏訪赤十字病院	登録医との集い	11月2日	当院医師と登録医との交流会
	市民公開講演会	12月16日	院長講和「100年のあゆみと最新治療」
	世界糖尿病デー	11月14日	医師、理学療法士による講演会、血糖・血圧測定、メディカルタップによる相談・試供品・パンフレットの配布
	LCV 日赤健康チャンネル	通年	ケーブルテレビ (LCV) にて医療・健康情報の発信 (毎月)
	出張出前講座 「ハートラちゃん講座」	通年	地域の皆さんと一緒に医療・福祉・介護・健康づくり・予防法などを学ぶ出前講座
安曇野赤十字病院	世界赤十字デーレッドライトアップ	令和5年 5月8日 ～14日	病院立看板のレッドライトアップ
	看護の日	5月12日 ～19日	院長からの花を展示
	七夕関連	7月7日 8月1日 ～31日	入院患者さんへ七夕献立を提供したほか、入院患者さん用の笹竹と短冊を各病棟に飾りつけ
	1日看護師体験	7月26日 7月28日	高校生を対象とした看護師体験の実施
	看護師インターンシップ	8月9日 8月17日	看護学生を対象とした1日インターンシップの開催
	健康ハートの日	8月10日	病院玄関や屋上をレッドライトアップ
	糖尿病啓発キャンペーン	11月14日	世界糖尿病デーに合わせて看板のブルーライトアップ
	子宮頸がん予防啓発プロジェクト 「ディープブルーライトアップ NAGANO2023」	11月20日	病院立看板のブルーライトアップ
	クリスマスイベント	12月1日 ～25日 12月14日	病棟にクリスマスツリーを設置 赤十字プラザ (ロビー) にてピアノ演奏会を開催
	ビデオ放映	通年	救急外来と外来待合にて、健康講座のビデオを放映
	りんどう会レター	年2回	りんどう会 (糖尿病患者さん向け) にて、手作り冊子の配布
	街路樹イルミネーション	令和5年 11月27日 ～令和6年 2月29日	地域を明るくすることを目的に、市民や企業と協力して街路樹を装飾
飯山赤十字病院	赤十字運動月間 キャンペーン	令和5年 5月1日 ～31日	赤十字に関するパンフレットの配布等
	運営協議会	8月3日	岳北地域の医療を担う当院の現状・課題や将来像の共有、連携を深めるため当院と行政との連絡会議を開催

飯山赤十字病院	高校生一日看護体験	令和5年 8月10日 令和6年 3月12日	看護師を目指す高校生を対象に、看護業務に触れ、関心と理解を深めてもらう
	公開講座	10月20日	「膵臓がん治療：最新の動向」 「色々な内視鏡検査」をテーマに 当院医師による講演と富山大学から講師を招き市民公開講座を開催
	中学生職場体験	10月26日	病院で働くスタッフを目指していただけるよう病院の様々な部署を見学・体験
	脳卒中月間	10月16日 ～ 31日	世界脳卒中デーにちなんでポスター掲示及びライトアップ
	医療安全週間	11月19日 ～ 25日	医療安全週間を設け、部署ごとの取り組みについてポスター展示
	飯山市芸術文化協会 飯山日赤展示	12月21日 ～令和6年 3月31日	地域の皆さんの活動の場として、院内へ飯山市芸術文化協会による日本画・水墨画・写真を展示
	震災復興・防災イベント	令和6年 3月1日 ～ 31日	ポスター展示
	災害救護活動報告会	令和6年 3月5日	令和6年能登半島地震における当院救護班や派遣看護師・支援ナースによる活動報告
	旅する本箱設置	3月8日	4つの本箱が長野県内4か所を巡るといふ県立長野図書館のプロジェクトへの参加
	出前講座	通 年	地域の予防医学に関する各種講演
下伊那赤十字病院	赤十字月間	令和5年 5月1日 ～31日	ハル展示
	ラベンダー花摘み ポプリ作り	7月4日	感染対策の上、地域赤十字奉仕団によるラベンダー花摘み・ポプリ作りを実施
	「ACTION！防災・減災」 啓発活動	令和6年 3月1日 ～31日	ポスター等を掲示
	出前講座	通 年	医療講演、認定看護師等による講演（開催回数を減らして実施）
川西赤十字病院	高校生1日看護師体験	令和5年 8月2日 ～ 3日 12月19日	高校生による1日看護師体験（白衣着用にて）

川西赤十字病院	中学生職場体験	① 7月24日 ～ 25日 11月1日 ② 10月11日 ～ 12日	看護師業の見学・体験・病院内見学
	出前講座・訪問支援	通年 (複数回)	長野県、保健所、看護協会、地元中学校、他団体から依頼を受け、看護部長(感染管理認定看護師)が施設等へ訪問して講演・指導
	赤十字月間	5月から通年	大給恒はじめ赤十字に由来する方、五稜郭のポスターを廊下に展示
	かわにしオレンジカフェ	毎月1回	認知症認定看護師による相談会・交流会
	もっとクロス教室	年4回	地域住民を対象としたリハビリスタッフによる健康教室
	病院祭	10月28日	各種イベントの開催
長野県赤十字血液センター	「シャレン!で献血」	令和5年 6月18日 10月8日	明治安田生命相互会社、公益社団法人日本プロサッカーリーグ、日本赤十字社が協働で展開する献血啓発活動としてサッカースタジアム会場での献血
	サマーキャンペーン	令和5年 7月17日	学生ボランティアと街頭にて献血協力及び献血PR
	学生クリスマスキャンペーン	令和5年 12月2日 3日	学生ボランティアと街頭にて献血協力及び献血PR
	プロスポーツチームとのタイアップ	令和5年 10月8日 11月18日 12月23日 令和6年 2月10日	若い世代への啓発の推進として県とプロスポーツチームとのタイアップによる啓発
	献血体験キャンペーン	令和5年 10月28日 29日 令和6年 1月6日 7日 8日 3月2日 3日 9日 10日	献血ルームから遠方の地域において献血を体験していただくため実施
松本赤十字乳児院	ひまわり交流会	4回開催	里親同士の交流や里親登録者の研修会

ウ 各種広報資材の配布

赤十字広報強化月間に集中的な広報を行うため、地区区分のご協力により「全戸配布チラシ」の配布や「赤十字運動用ポスター」の掲示に努めました。

また、令和5年度に作成している「活動資金御礼・報告チラシ」をご協力いただいた皆さま等へ配布しました。

資材名	配布数(部)
全戸配布チラシ	739,656
赤十字運動用ポスター	2,151
リーフレット	8,573
活動資金御礼・報告チラシ	65,000



全戸配布チラシ



活動資金御礼・報告チラシ

(7) 長野県支部ホームページ

より多くの方々に赤十字をご理解いただくため、ホームページを活用しました。

なお、主な掲載内容は次のとおりです。

- ・ 赤十字事業の紹介
- ・ 救急法等講習会の情報
- ・ 講習会指導員向け情報
- ・ 地区区分事務局向け情報
- ・ 青少年赤十字指導者向け情報
- ・ 義援金、救援金の募集情報



長野県支部ホームページ

(8) 長野県赤十字歴史資料館

長野県赤十字歴史資料館には、県内外から多くの方々にご来館いただいています。

平成20年4月の開館以来、令和6年3月31日までの来館者は、10,314人を数えています。



長野県赤十字歴史資料館



長野県赤十字歴史資料館

明治10(1877)年、博愛社として設立された日本赤十字社は、各県に「支部」の設置に取り組み、長野県では明治22(1889)年、県庁内に支部を設置後、明治32(1899)年には、現在の地に事務所を建設し、赤十字思想の普及と事業拡大の拠点としました。当時の支部事務所の大部分は、老朽化により平成19(2007)年に取り壊しましたが、赤十字の礎を築いた「救護看護婦」を戦地へと送り出した「正面玄関」と「支部長室」を改修・保存し、解体した建物の屋根瓦・ガラス窓等を再利用して、建設当時の姿を出来る限り復元しました。貴重な資料を展示し、先人の偉功を後世に伝えています。

11 企業・団体とのパートナーシップ

日本赤十字社は、「人のいのちと健康、尊厳を守る」活動を共に推進くださる企業・団体等のパートナーを求めています。企業・団体の社会貢献に対するご意向を尊重し、さまざまな形態でご協力いただいております。

(1) 長野マラソン大会

長野マラソン大会組織委員会と日本赤十字社長野県支部は、ボランティア精神の醸成や社会貢献活動に関するパートナーシップ協定を締結しています。また、毎年、大会には赤十字PRブースを設けていただくほか、チャリティーエントリーを企画いただき、赤十字の活動資金として寄付をいただいております。



長野マラソンPRブース

(2) 長野県司法書士会

令和5年11月21日、当支部で初めてとなる「～赤十字でつなぐ、わたしの想い～相続・遺言セミナー」を長野県司法書士会と共同開催しました。近年、ご自身が築いた財産や相続された遺産を、赤十字を通じて社会のために役立てて欲しい、といったお申し出が増えている一方、財産を相続するときやご自身の将来を考えたとき、どのような手続きから始めたら良いのか、どんなことに気を付けるべきなのか、疑問や不安が先立ってしまうとのご意見が多く、本セミナーでは、相続や遺言書の作成に関心のある方や不安の解消の一助となる内容としました。

《セミナーのプログラム》

内 容	講 師
第1部 相続・遺言の基礎知識	長野県司法書士会 司法書士 峯村 伸吾 氏
第2部 日本赤十字社の活動と遺贈寄付等のご案内	支部職員

(3) 長野県内の経済団体

長野県経営者協会や長野商工会議所連合会など、県内の経済団体にご協力いただき、幅広い広報活動や募集に取り組みました。会報誌に赤十字をPRする広告を掲載いただいたほか、会議において、赤十字活動の説明やご寄付をお願いする時間をいただくなど、各会員の皆様への広報にご協力いただきました。

赤十字活動へのご寄付をお願いします

災害救護や防災・減災など、国内外を問わず行う人道支援活動は、ご寄付を財源としています。「人間のいのちと健康、尊厳を守る」赤十字活動が続けられるよう、力を貸してください。また、ご寄付の一部は、地元の社会活動にも活用されています。

【お問い合わせ先】日本赤十字社長野県支部 TEL: 026-226-2073

松本商工会議所会報誌

佐久市からのお知らせ

令和5年 生活習慣病重症化予防講演会
「健康づくりセミナー」参加者募集

日時 令和5年9月11日(日) 13:00～14:30 参加費 無料

場所 佐久市市民健康センター

講演 「骨粗しょう症による骨折を防ぐために」
浅間総合病院 名誉院長 整形外科医師 村松 隆太郎氏
他、市管理栄養士、理学療法士による講座

申込方法 事前に電話または佐久市公式LINEでお申し込みください。詳しくは右QRコードからHPをご覧ください。

問合せ 佐久市役所 健康づくり推進課 健康増進係 62-3189 (直通)

赤十字活動へのご寄付をお願いします。

災害救護や防災・減災など「人間のいのちと健康、尊厳を守る」赤十字活動が続けられるよう、力を貸してください。また、ご寄付の一部は、地元の社会活動にも活用されています。

【お問い合わせ先】日本赤十字社長野県支部 TEL: 026-226-2073

佐久商工会議所会報誌

(4) 公益社団法人 長野県柔道整復師会

例年、当支部に活動資金をご寄付いただくほか、赤十字活動の実践として、結成した長野県柔道整復師会赤十字奉仕団が、長野県赤十字救護隊と合同で災害救護のための研修にも取り組んでいます。

令和5年度は、安曇野赤十字病院で開催した長野県支部の合同災害救護訓練や「長野びんずる」の臨時救護所の運営にも参加いただきました。



(5) 長野県赤十字有功会

日本赤十字社に対し、多額の寄付をされた「有功章受章者」の有志により、平成6年3月に設立された、赤十字事業の伸展に協力する支援団体です。令和5年度末の会員数は、個人116人、法人・団体73社・団体を数えています。

毎年5月には総会を開催し、国及び日本赤十字社の表彰伝達や赤十字の理解を深める講演等を企画しています。

ア 総会の開催

5月22日、長野県赤十字有功会総会が開催され、関昇一郎副支部長（長野県副知事）から多額のご寄付をされた方々に有功章等の表彰を伝達しました。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、新会長に浅井隆彦氏が選出されました。

第2部では4年振りに講演会を開催し、「東日本大震災を経験して」と題して、大川伝承の会 只野英昭氏に講演いただきました。



只野 英昭 氏による講演

イ 研修旅行

11月5日～7日、会員の研修と相互の親睦・交流を兼ねて、浅井会長はじめ、会員及び関係者など総勢18人が、佐賀県と熊本県を訪問しました。両県は日本赤十字社にとって縁の深い地であり、日本赤十字社を創設した佐野常民の記念館（佐賀県）や西南戦争の激戦地「田原坂」、等を視察し、赤十字活動への理解を深めました。



佐野常民記念館（佐賀県）



田原坂西南戦争資料館（熊本市）

12 事業実施体制 より信頼される赤十字へ

(1) 評議員会

評議員会において、次のとおり議案が審議され、いずれも原案のとおり承認されました。

ア 令和5年4月28日（文書審議）

第1号議案 日本赤十字社長長野県支部副支部長の選出について

第2号議案 日本赤十字社長長野県支部監査委員の選出について

第3号議案 日本赤十字社代議員の選出について

イ 令和5年6月13日

第1号議案 令和4年度事業報告について

第2号議案 令和4年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算について

ウ 令和6年2月13日

第1号議案 令和6年度事業計画（案）について

第2号議案 令和6年度一般会計及び特別会計歳入歳出予算（案）について

第3号議案 日本赤十字社長長野県支部監査委員の選出について

(2) 郡市地区及び町村分区事務担当課長会議

県内各地域における翌年度の赤十字事業の指針となるを実施していくための事業計画（案）及び予算（案）を協議するため、令和5年12月15日に開催しました。

(3) 職員の人材育成

職員の成長を支援できる仕組みとして、4つの階層別研修を実施しました。職位に応じて、期待される役割の理解や職務遂行能力の向上を図るとともに、所属する施設又は職種の異なる職員が一堂に会することは、同じ立場で抱える悩み等を共有できる交流の機会にもなりました。

また、赤十字活動の歴史やしぐみ、コンプライアンス意識を高めるプログラムも取り入れ、赤十字職員としての自覚を促す研修としました。

(4) 監査委員監査

評議員会で選出された監査委員により、支部及び施設の業務管理及び執行並びに会計監査を実施しました。

13 監査報告

支部及び県内赤十字施設の令和5年度事業にかかる監査委員監査を、次のとおり実施しました。

監査委員	牛越 徹	貴舟 豊	柳澤 勇
------	------	------	------

施設名	実施年月日
長野赤十字病院	令和6年6月3日
諏訪赤十字病院	5月29日
安曇野赤十字病院	5月31日
飯山赤十字病院	6月3日
下伊那赤十字病院	6月5日
川西赤十字病院	5月29日
松本赤十字乳児院	5月31日
長野県赤十字血液センター	6月5日
日本赤十字社長野県支部	6月5日

令和元年度決算から三様監査（①監査委員による監査②監査法人が会計監査を行う外部監査③本社監査室による内部監査）が実施されています。

令和5年度 一般会計歳入歳出決算報告書
(長野県支部)

令和5年度一般会計歳入歳出決算報告書

歳 入

(単位:円)

科 目	予算現額	決算額	前年度決算額	前年度差引増減額	主な増減理由
2 支部収入	403,007,000	384,183,258	581,077,530	△ 196,894,272	
1 活動資金収入	352,600,000	324,630,463	504,195,024	△ 179,564,561	
一般活動資金		299,055,889	455,348,223	△ 156,292,334	地区分区扱いの会費及び支部、施設あて大口寄付の減
法人活動資金		25,574,574	48,846,801	△ 23,272,227	地区分区扱いの会費及び支部、施設あて大口寄付の減
					【令和5年度実績】 (地区分区 238,975,445 支部 41,624,788 施設 44,030,230)
2 委託金等収入	0	15,000	15,000	0	
他団体等委託金収入		15,000	15,000	0	
3 補助金及び交付金収入	31,243,000	31,866,327	11,364,887	20,501,440	
他団体等補助金収入		500,000	0	500,000	長野県赤十字有功会からの補助金の増
管理経費調整交付金収入		568,047	554,240	13,807	本社研修及び会議等にかかる本社交付金の増
施設整備交付金収入		28,747,390	7,762,789	20,984,601	施設に対する本社交付金の増
障害者雇用促進事業助成金収入		540,000	540,000	0	
その他本社交付金収入		1,510,890	2,507,858	△ 996,968	第3ブロック支部合同救護訓練にかかる本社交付金の減
5 繰入金収入	1,574,000	1,649,493	50,650,263	△ 49,000,770	
災害等資金繰入金収入		0	34,167,240	△ 34,167,240	医療施設への救護員輸送用車両整備にかかる資金繰入の減
国際救護活動資金繰入金収入		1,573,489	6,918,619	△ 5,345,130	個人住民税控除適用海外救援金の送金にかかる資金繰入の減
事業準備積立繰入金収入		0	9,483,409	△ 9,483,409	長野県対象災害義援金(前年度受付分)の送金にかかる積立金繰入の減
本社繰入金収入		76,004	80,995	△ 4,991	海外たすけあい人件費にかかる本社繰入金の減
9 資産収入	6,056,000	6,143,756	6,850,250	△ 706,494	
地代収入		6,143,756	6,850,250	△ 706,494	駐車場貸付収入の減
10 雑収入	7,904,000	8,271,976	6,715,174	1,556,802	
講習会等負担金収入		7,162,536	4,420,882	2,741,654	講習依頼の増加に伴う主催者負担金及び教本代収入の増
その他負担金収入		0	168,000	△ 168,000	第3ブロック青年赤十字奉仕団会議にかかる他県支部負担金収入の減
雑収入		1,109,440	2,126,292	△ 1,016,852	出向職員にかかる退職及び年金費用(出向先施設負担分)の減
11 前年度繰越金	3,630,000	11,606,243	1,286,932	10,319,311	
前年度繰越金		11,606,243	1,286,932	10,319,311	

歳 出

(単位:円)

科 目	予算現額	決算額	前年度決算額	前年度差引増減額	主な増減理由
2 支部費	403,007,000	364,317,660	569,471,287	△ 205,153,627	
1 災害救護事業費	40,978,000	38,011,170	71,699,861	△ 33,688,691	
災害救護指導事業費		19,916,250	14,328,073	5,588,177	救護業務管理費の増
災害救護装備費		10,649,560	40,088,049	△ 29,438,489	医療施設への救護員輸送用車両整備費の減
非常災害救援物資整備費		2,405,700	2,440,900	△ 35,200	救援物資整備費の減
災害義援金送付金		0	9,483,409	△ 9,483,409	長野県対象災害義援金にかかる送金の減
救護看護師指導養成費		5,039,660	5,359,430	△ 319,770	救護看護師養成にかかる広報資料整備費の減
2 社会活動費	89,711,000	70,288,705	67,457,056	2,831,649	
救急法等普及費		26,243,842	19,534,111	6,709,731	講習依頼の増加に伴う指導員旅費及び救急法等指導管理費の増
奉仕団活動費		24,187,883	26,988,968	△ 2,801,085	研修資料作成費の減
青少年赤十字活動費		5,744,608	6,831,789	△ 1,087,181	トレーニングセンター資料整備費及び青少年赤十字活動管理費の減
社会福祉活動費		20,604	20,000	604	通信運搬費の増
医療事業費		7,147,970	7,069,724	78,246	医療事業管理費の増
血液事業費		6,943,798	7,012,464	△ 68,666	血液事業管理費の減
3 国際活動費	3,709,000	3,673,489	9,018,619	△ 5,345,130	
国際救援事業費		1,470,000	1,470,000	0	
個人住民税控除海外救援金		1,573,489	6,918,619	△ 5,345,130	個人住民税控除適用海外救援金にかかる送金の減
国際開発協力事業		630,000	630,000	0	
4 指定事業地方振興費	3,674,000	3,673,489	13,608,619	△ 9,935,130	
災害救護設備整備費		2,100,000	2,000,000	100,000	支部における整備費の増
救急医療体制整備費		0	4,690,000	△ 4,690,000	医療施設における整備費の減
支部国際活動基金積立金		1,573,489	6,918,619	△ 5,345,130	個人住民税控除適用海外救援金にかかる積立金の減
5 地区区分交付金支出	55,000,000	44,880,560	46,171,465	△ 1,290,905	
事務費交付金支出		20,227,030	21,457,350	△ 1,230,320	地区区分における活動資金収入の減に伴う交付金の減(活動資金実績の8%)
事業費交付金支出		24,653,530	24,714,115	△ 60,585	地区区分における活動資金収入の減に伴う交付金の減(活動資金実績の10%)
6 社業振興費	31,583,000	29,008,110	32,895,009	△ 3,886,899	
社業振興費		15,942,109	14,644,176	1,297,933	活動資金募集資料作成費及びDM発送にかかる通信運搬費の増
広報活動費		13,066,001	18,250,833	△ 5,184,832	全戸配布チラシ作成費及び広告業務委託料の減
7 基盤整備交付金・補助金支出	66,174,000	66,173,086	171,295,063	△ 105,121,977	
医療施設基盤整備交付金支出		62,303,086	170,163,063	△ 107,859,977	医療施設に対する寄付金の減少に伴う交付金の減(個人住民税控除適用寄付金を除く)
社会福祉施設基盤整備交付金支出		3,870,000	1,132,000	2,738,000	社会福祉施設に対する寄付金の増加に伴う交付金の増(個人住民税控除適用寄付金を除く)

歳 出

(単位:円)

科 目	予算現額	決算額	前年度決算額	前年度差引増減額	主な増減理由
10 積立金支出	18,297,000	18,296,800	42,191,148	△ 23,894,348	
災害等資金積立金支出		5,000,000	0	5,000,000	資金積立計画による積立の増
施設整備準備資金積立金支出		5,000,000	34,500,000	△ 29,500,000	コロナによる事業不執行費を財源とする積立の減
退職給与資金特別会計積立金支出		8,296,800	7,691,148	605,652	退職給与資金積立の増
12 総務管理費	43,247,000	39,833,851	39,991,489	△ 157,638	
評議員会等諸費		516,468	908,197	△ 391,729	評議員会開催にかかる会場借用費の減
総務管理費		38,724,383	38,623,292	101,091	社会保険料等負担金の増
監査費		593,000	460,000	133,000	外部監査費の増
13 資産取得及び資産管理費	3,789,000	3,744,854	3,054,998	689,856	
修繕費		990,000	0	990,000	歴史資料館改修工事費の増
損害保険料		535,533	671,931	△ 136,398	自動車任意保険料の減
管理諸費		2,219,321	2,383,067	△ 163,746	医療施設への救護員輸送用車両整備にかかるリサイクル料預託金の減
14 本社送納金支出	46,845,000	46,733,546	72,087,960	△ 25,354,414	
本社送納金支出		46,733,546	72,087,960	△ 25,354,414	活動資金収入の減少に伴う減(指定事業寄付金を除く活動資金実績の15%)
15 予備費	0	0	0	0	
予備費		0	0	0	

歳入歳出差引残額 (翌年度繰越額)	19,865,598
-------------------	------------

令和5年度 特別会計歳入歳出決算報告書
(医療施設・社会福祉施設)

令和5年度医療施設特別会計歳入歳出決算報告書

(単位：円)

(施設名) (科目)	長野赤十字病院	諏訪赤十字病院	安曇野赤十字病院	飯山赤十字病院	下伊那赤十字病院	川西赤十字病院	合計
医業収益	25,468,238,385	19,229,279,810	6,718,753,625	3,736,564,908	1,301,479,504	788,036,910	57,242,353,142
医業費用	26,250,178,320	19,373,317,084	7,033,016,996	4,444,007,309	1,531,266,279	976,466,601	59,608,252,589
医療事業利益(損失)	△781,939,935	△144,037,274	△314,263,371	△707,442,401	△229,786,775	△188,429,691	△2,365,899,447
医業外収益	1,599,946,749	1,045,286,390	1,115,890,578	572,470,962	311,472,623	257,255,819	4,902,323,121
医業外費用	62,033,651	58,142,377	49,908,028	34,463,492	5,939,963	5,446,801	215,934,312
医業外利益(損失)	1,537,913,098	987,144,013	1,065,982,550	538,007,470	305,532,660	251,809,018	4,686,388,809
医療社会事業収益	15,225,620	1,980,789	9,769,920	5,258,374	0	33,303,968	65,538,671
医療奉仕費用	120,149,435	65,352,342	143,152,547	78,976,912	917,260	31,944,941	440,493,437
医療社会事業利益(損失)	△104,923,815	△63,371,553	△133,382,627	△73,718,538	△917,260	1,359,027	△374,954,766
付帯事業収益	142,458,936	171,047,284	54,289,776	82,290,156	212,617,733	89,120,965	751,824,850
付帯事業費用	135,427,573	263,702,523	58,855,661	102,009,072	241,005,335	67,388,671	868,388,835
付帯事業利益(損失)	7,031,363	△92,655,239	△4,565,885	△19,718,916	△28,387,602	21,732,294	△116,563,985
特別利益	1,066,526	8,934,155	3,283,342	0	242,000	0	13,526,023
特別損失	4,360,797	14,215,603	2,175,960	347,610	116,950	52,360	21,269,280
特別利益(損失)	△3,294,271	△5,281,448	1,107,382	△347,610	125,050	△52,360	△7,743,257
法人税等	0	32,684	0	0	0	0	32,684
病院収益	27,226,936,216	20,456,528,428	7,901,987,241	4,396,584,400	1,825,811,860	1,167,717,662	62,975,565,807
病院費用	26,572,149,776	19,774,762,613	7,287,109,192	4,659,804,395	1,779,245,787	1,081,299,374	61,154,371,137
当期純利益(損失)	654,786,440	681,765,815	614,878,049	△263,219,995	46,566,073	86,418,288	1,821,194,670
利益剰余金(欠損金) 累計額	11,124,776,184	7,550,384,348	△3,022,656,895	△1,407,205,031	306,116,191	△815,745,980	13,735,668,817

令和5年度社会福祉施設特別会計収支決算報告書

(単位：円)

(科 目)	(施設名)	松本赤十字乳児院
	事業活動による収入	令和5年度
令和4年度		224,163,497
増 減		21,211,067
事業活動による支出	令和5年度	204,279,736
	令和4年度	250,715,281
	増 減	△46,435,545
事業活動資金収支差額	令和5年度	41,094,828
	令和4年度	△26,551,784
	増 減	67,646,612

施設整備等による収入	令和5年度	0
	令和4年度	0
	増 減	0
施設整備等による支出	令和5年度	1,532,160
	令和4年度	419,980
	増 減	1,112,180
施設整備等資金収支差額	令和5年度	△1,532,160
	令和4年度	△419,980
	増 減	△1,112,180

その他の活動による収入	令和5年度	6,627,300
	令和4年度	53,703,993
	増 減	△47,076,693
その他の活動による支出	令和5年度	41,363,714
	令和4年度	26,612,286
	増 減	14,751,428
その他の活動資金収支差額	令和5年度	△34,736,414
	令和4年度	27,091,707
	増 減	△61,828,121

前期末支払資金残高	令和5年度	62,323,959
	令和4年度	62,204,016
	増 減	119,943

当期末支払資金残高	令和5年度	67,150,213
	令和4年度	62,323,959
	増 減	4,826,254

資料編

災害救護	55
1. 医療救護班数等	
2. 救援物資の備蓄状況	
赤十字奉仕団	57
1. 結成状況	
青少年赤十字	59
1. 加盟校名簿	
救急法などの講習	62
1. 講習種別等	
2. 市町村別の講習実施状況	
3. 各講習の指導員数	
4. 講習資材の整備状況	
医療事業	65
1. 病院別の診療科目及び病床数	
2. 主な施設基準及び特殊診療等指定状況	
看護師養成事業	67
1. 看護師養成の状況	
2. 長野県支部長推薦による 日本赤十字豊田看護大学在学状況	
血液事業	68
1. 血液センター別の供給本数	
2. 血液型別複数回献血クラブ 「ラブラッド」会員数	
3. 原料血漿の確保状況	
日本赤十字社長野県支部現勢	69
日本赤十字社現勢	70
日本赤十字社の機構	71
日本赤十字社長野県支部役員名簿	72
地区分区住所録	73
赤十字施設一覧表	78

(統計数字等は、令和6年3月31日現在)

災 害 救 護

1. 医療救護班数等

(1) 医療救護班

施設名	救護班数(班)	人員(人)
長野赤十字病院	5	35
諏訪赤十字病院	3	21
安曇野赤十字病院	2	14
飯山赤十字病院	2	14
下伊那赤十字病院	2	12
川西赤十字病院	2	12
合計	16	108

(2) 日赤災害医療コーディネーターチーム

施設名	コーディネーター (医師)	コーディネートスタッフ (看護師・主事)	計 (人)
長野赤十字病院	3	11	14
諏訪赤十字病院	1	4	5
安曇野赤十字病院	1	4	5
川西赤十字病院	1	0	1
長野県支部	0	2	2
合計	6	21	27

(3) 血液供給要員

施設名	人員(人)
長野県赤十字血液センター	13
長野県赤十字血液センター松本事業所	9
合計	22

(4) 防災ボランティア

団体名	人員(人)	備考
長野県赤十字救護隊	65	4方面隊設置
長野県柔道整復師会赤十字奉仕団	532	4地区設置
赤十字飛行隊長野支隊	1	本社直轄
合計	598	

2. 救援物資の備蓄状況

管理	保管場所		毛布 (枚)	緊急 セット (セット)	安眠 セット (セット)	タオルケット (枚)	
支部	北信	支部倉庫	長野県支部	249	284	671	1,400
		中野市倉庫	中野市防災広場	1,000	120	498	0
		須坂市倉庫	須坂市老人福祉センター「永楽荘」	560	0	150	0
		千曲市倉庫	千曲市ふれあい福祉センター	710	216	795	0
	中信	松本市倉庫	松本平広域公園	2,813	2,118	2,844	1,290
		大町市倉庫	大町市常盤貝原	1,570	1,500	465	0
		木曾町倉庫	木曾広域情報センター	800	0	153	0
		池田町倉庫	池田町防災倉庫	400	0	200	0
	東信	東御市倉庫	東御市第二体育館	500	0	0	0
		佐久市倉庫	佐久市老人福祉センター「長寿閣」	827	120	400	0
		小海町倉庫	小海町旧松原保育所跡地	700	420	940	0
			小海町総合センター	380	330	510	0
		上田市倉庫	上田市立清明小学校児童クラブ	300	0	150	0
		小諸市倉庫	小諸市総合体育館	400	0	0	0
		軽井沢町倉庫	軽井沢風越公園総合体育館	165	1	190	0
	南信	辰野町倉庫	辰野町荒神山スポーツ公園	272	0	0	0
		平谷村倉庫	飯田広域消防平谷分署隣	460	0	0	0
		駒ヶ根市倉庫	駒ヶ根市防災備蓄倉庫	762	178	195	0
		岡谷市倉庫	諏訪湖ハイウェイ駐車場防災倉庫	200	0	100	0
		喬木村倉庫	喬木村帰牛原	560	0	200	0
		天龍村倉庫	天龍村老人福祉センター	500	0	240	0
		伊那市倉庫	伊那市防災倉庫	1,347	590	345	0
		富士見町倉庫	富士見町防災ステーション	508	0	300	100
	小 計			15,983	5,877	9,346	2,790
	施設	赤十字施設(7)	各赤十字病院・血液センター	1,686	0	692	0
	地区分区	地区分区倉庫(79)	各事務局	3,228	0	81	0
	合 計			20,897	5,877	10,119	2,790



緊急セット
(携帯ラジオ、懐中電灯、歯ブラシ、軍手など)



安眠セット
(マットレス、アイマスク、耳栓、空気枕など)



毛布

赤 十 字 奉 仕 団

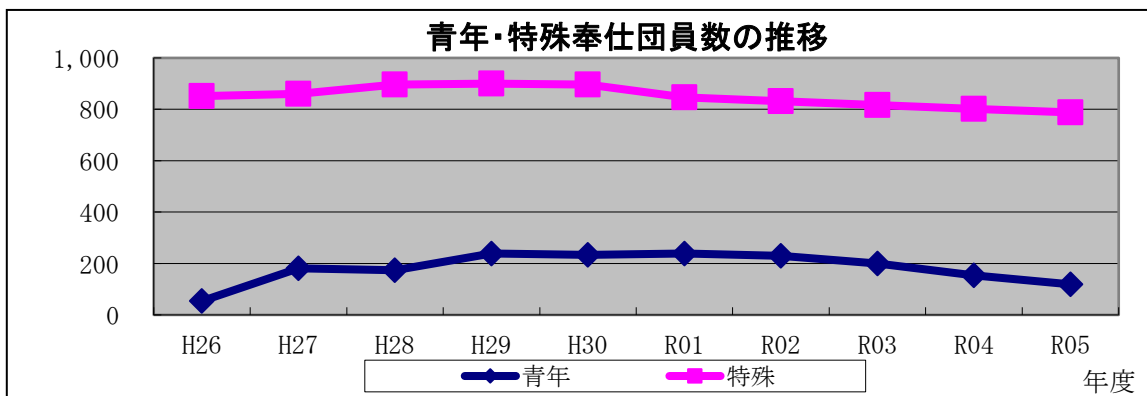
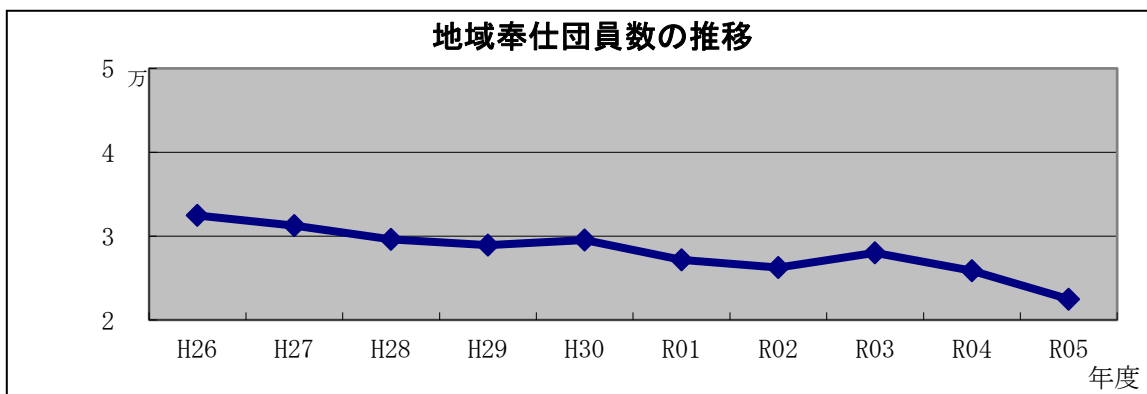
1. 結成状況

	区 分	結成数	団員数
市 地 区 地 域 奉 仕 団	長 野 市	1	933
	松 本 市	1	949
	上 田 市	1	2,259
	岡 谷 市	1	287
	飯 田 市	1	1,470
	諏 訪 市	1	198
	須 坂 市	1	593
	小 諸 市	1	2,293
	伊 那 市	1	289
	駒ヶ根 市	1	89
	中 野 市	1	1,875
	大 町 市	1	1,200
	飯 山 市	1	185
	茅 野 市	1	282
	塩 尻 市	1	407
	佐 久 市	1	1,524
	千 曲 市	1	842
	東 御 市	1	275
	安 曇 野 市	1	1,110
	小 計	19	17,060
郡 地 区 地 域 奉 仕 団	南 佐 久 郡	6	202
	北 佐 久 郡	3	510
	小 県 郡	2	126
	諏 訪 郡	3	318
	上 伊 那 郡	6	935
	下 伊 那 郡	13	2,045
	木 曾 郡	6	193
	東 筑 摩 郡	5	222
	北 安 曇 郡	4	154
	埴 科 郡	1	281
	上 高 井 郡	2	43
	北 信	4	209
	上 水 内 郡	3	181
	小 計	58	5,419
地 域 奉 仕 団 合 計 ①		77	22,479

区 分		結成数	団員数
奉仕団 青年	諏訪赤十字看護	1	90
	長野大学	1	2
	青年(社会人)	1	9
合 計 ②		3	101

区 分		結成数	団員数
特 殊 奉 仕 団	救 護 隊	1	65
	情 報	1	0
	水 上 安 全	1	20
	安 全	1	12
	大町市救急員会	1	15
	青少年赤十字賛助	1	9
	柔道整備師会	1	532
	広 報	1	81
	音 訳	1	30
	赤十字飛行隊長野支隊	1	1
合 計 ③		10	765

区 分	結成数	団員数
赤十字奉仕団 合計 ①～③ (前 年 度)	90 (90)	23,345 (26,788)



青少年赤十字

1. 加盟校名簿（各市郡別）

市郡名	校種	加盟校数	メンバー数(人)	加盟校名
長野市	小学校	11	2,866	古牧・吉田・湯谷・若槻・芋井・安茂里・川田・七二会・信州新町・長沼・山王
	中学校	14	3,915	柳町・東部・西部・東北・北部・裾花・川中島・更北・戸隠・鬼無里・大岡・松代 長野市立長野・信大附属長野・
	高等学校	13	686	長野・長野西・長野商業・長野東・長野工業・篠ノ井高校犀峽校・長野南・篠ノ井・更級農業・松代・市立長野・文化学園長野・長野俊英
	特別支援学校	2	38	長野盲・長野養護
松本市	小学校	6	2,573	並柳・田川・開明・菅野・二子・附属松本
	中学校	8	2,205	清水・鎌田・松島・開成・高綱・明善・奈川・信大附属松本
	高等学校	9	890	梓川・松本県ヶ丘・松本美須ヶ丘・松本深志・松本蟻ヶ崎・松本筑摩・松本国際・松本第一・エクセラシ
上田市	小学校	0	0	
	中学校	5	2,079	塩田・第一・第六・真田・丸子北
	高等学校	4	81	上田東・丸子修学館・上田西・さくら国際
岡谷市	小学校	2	204	長地・上の原
	中学校	0	0	
	高等学校	1	10	岡谷工業
飯田市	小学校	3	365	山本・川路・鼎
	中学校	5	1,412	飯田西・緑ヶ丘・旭ヶ丘・竜峡・鼎
	高等学校	3	744	飯田・飯田風越・飯田OIDE長姫
諏訪市	小学校	3	1,022	城南・四賀・湖南
	中学校	1	258	諏訪
	高等学校	0	0	
須坂市	小学校	11	2,134	須坂・小山・森上・日滝・豊洲・日野・井上・高甫・旭ヶ丘・仁礼・豊丘
	中学校	4	1,252	常盤・相森・墨坂・東
	高等学校	3	42	須坂東・須坂・須坂創成
小諸市	小学校	0	0	
	中学校	1	381	芦原
	高等学校	2	28	小諸商業・小諸

市郡名	校種	加盟校数	メンバー数(人)	加盟校名
伊那市	小学校	1	714	伊那
	中学校	1	620	春富
	高等学校	3	85	高遠・伊那北・伊那弥生ヶ丘
駒ヶ根市	小学校	0	0	
	中学校	1	626	赤穂
	高等学校	0	0	
中野市	小学校	2	1,394	中野・平野
	中学校	2	566	中野平・豊田
	高等学校	2	15	中野立志館・中野西
大町市	小学校	4	1,306	大町東・大町南・大町北・大町西
	中学校	0	0	
	高等学校	1	15	大町岳陽
飯山市	小学校	0	0	
	中学校	0	0	
	高等学校	1	9	飯山
茅野市	小学校	1	686	宮川
	中学校	2	791	東部・長峰
	高等学校	1	2	茅野
塩尻市	小学校	4	1,094	塩尻東・片丘・宗賀
	中学校	0	0	
	高等学校	3	295	塩尻志学館・田川・東京都市大学塩尻
佐久市	小学校	2	910	臼田・中佐都
	中学校	5	1,196	野沢・中込・浅間・東・浅科
	高等学校	5	671	長野西高校望月サテライト・岩村田・野沢北・ 佐久平総合技術浅間キャンパス・ 佐久平総合技術臼田キャンパス
千曲市	小学校	0	0	
	中学校	2	1,377	更埴西・屋代・戸倉上山田
	高等学校	1	3	屋代南
東御市	小学校	1	210	北御牧
	中学校	1	139	北御牧
	高等学校	1	122	東御清翔
安曇野市	小学校	1	708	豊科南
	中学校	1	32	穂高東
	高等学校	4	123	明科・豊科・南安曇農業・穂高商業
南佐久郡	小学校	1	17	小海
	中学校	0	0	
	高等学校	1	12	小海

市郡名	校種	加盟校数	メンバー数(人)	加盟校名
北佐久郡	小学校	3	1,373	軽井沢西部・御代田南・立科
	中学校	2	469	軽井沢・御代田
	高等学校	2	10	蓼科・軽井沢
小 県 郡	小学校	1	32	青木
	中学校	1	87	青木
諏訪郡	小学校	0	0	
	中学校	2	635	下諏訪社・富士見
	高等学校	1	8	下諏訪向陽
上伊那郡	小学校	3	550	川島・飯島・中川西
	中学校	4	1,269	辰野・箕輪・飯島・中川
	高等学校	3	28	辰野・箕輪進修・上伊那農業
下伊那郡	小学校	2	54	喬木第二・新野
	中学校	1	7	天龍
	高等学校	2	31	松川・阿智
木 曾 郡	小学校	0	0	
	中学校	1	58	木祖
	高等学校	0	0	
東筑摩郡	小学校	0	0	
	中学校	1	173	生坂
	高等学校	0	0	
北安曇郡	小学校	1	544	松川
	中学校	1	231	松川
	高等学校	2	134	池田工業・白馬
埴科郡	小学校	0	0	
	中学校	1	390	坂城
	高等学校	1	5	坂城
上高井郡	小学校	1	604	栗ガ丘
	中学校	2	535	小布施・高山
下高井郡	小学校	1	190	山ノ内東
	中学校	1	300	木島平
	高等学校	0	0	
上水内郡	小学校	2	350	三水・信濃
	中学校	1	160	飯綱
	高等学校	0	0	
下水内郡	小学校	0	0	
	中学校	1	18	栄

救急法などの講習

1. 講習種別等

講習区分	講習名	講習内容	講習時間
救 急 法	基礎講習	傷病者の観察の仕方及び一次救命処置（心肺蘇生法、AEDを用いた除細動、気道異物除去法）等救急法の基礎	4 時間
	救急員養成講習	急病の手当、けがの手当（止血法、包帯法、固定法）、搬送及び救護	10 時間
	短期講習	救急法基礎講習及び救急法救急員養成講習の内容の一部	2 時間程度
水 上 安 全 法	救助員Ⅰ養成講習	水の事故防止、泳ぎの基本と自己保全、事故者の救助及び応急手当	14 時間
	救助員Ⅱ養成講習	海、河川及び湖沼での事故防止、泳ぎの基本と自己保全、事故者の救助及び応急手当	12 時間
	短期講習	救助員Ⅰ養成講習及び救助員Ⅱ養成講習の内容の一部	2 時間程度
健康生活支援講習	支援員養成講習	高齢期における健康の維持と増進、自立に向けた生活の仕方や工夫及び地域の高齢者支援	9 時間
	災害時高齢者生活支援講習	災害時における高齢者を守るための知識及び支援技術	2 時間
	短期講習	健康生活支援講習支援員養成講習の内容の一部を選択	2 時間程度
幼 児 安 全 法	支援員養成講習	こどもに起こりやすい事故の予防と手当及びこどもの病気への対応	10 時間
	短期講習	支援員養成講習の内容の一部を選択	2 時間程度

2. 市町村別の講習実施状況（回）

北信地域	救	水	健	幼	計
中野市	6		2		8
飯山市	2		2	2	6
山ノ内町	5				5
木島平村				1	1
野沢温泉村	1				1
栄村					

長野地域	救	水	健	幼	計
長野市	176	1	9	13	199
須坂市	3				3
千曲市			2	1	3
坂城町	1				1
小布施町	3				3
高山村					
信濃町	5			2	7
飯綱町	7			1	8
小川村	2				2

上小地域	救	水	健	幼	計
上田市	32		1	1	34
東御市			1		1
長和町					
青木村					

佐久地域	救	水	健	幼	計
小諸市					
佐久市	5		1		6
小海町					
佐久穂町					
川上村	3				3
南牧村					
南相木村					
北相木村					
軽井沢町	2				2
御代田町					
立科町	2				2

松本地域	救	水	健	幼	計
松本市	33		5	8	46
塩尻市	18		2	5	25
安曇野市	16		3	13	32
麻績村					
生坂村			1	2	3
山形村					
朝日村					
筑北村					

大北地域	救	水	健	幼	計
大町市	12				12
池田町					
松川村					
白馬村	3				3
小谷村	1				1

諏訪地域	救	水	健	幼	計
岡谷市	9				9
諏訪市	13		1	2	16
茅野市	5				5
下諏訪町	8				8
富士見町	1				1
原村				1	1

木曾地域	救	水	健	幼	計
上松町					
南木曾町					
木曾町	8				8
木祖村	1				1
王滝村					
大桑村					

上伊那地域	救	水	健	幼	計
伊那市	28			1	29
駒ヶ根市	4				4
辰野町	18			1	19
箕輪町	21				21
飯島町	3				3
南箕輪村	19				19
中川村	1				1
宮田村					

飯伊地域	救	水	健	幼	計
飯田市	154		2		156
松川町	4			1	5
高森町					
阿南町					
阿智村	2				2
平谷村					
根羽村					
下條村	2				2
売木村					
天龍村					
泰阜村					
喬木村	2				2
豊丘村	3				3
大鹿村					

合計	救	水	健	幼	計
	644	1	32	55	732

救：救急法

水：水上安全法

健：健康生活支援講習

幼：幼児安全法

3. 各講習の指導員数

講習区分	指導員数 (人)		
	ボランティア	職員	計
救 急 法	129	87	216
水 上 安 全 法	8	1	9
健康生活支援講習	21	60	81
幼 児 安 全 法	18	54	72
雪 上 安 全 法	0	2	2
合 計	176	204	380

4. 講習資材の整備状況

整備品目	数量(体、台)
人工呼吸訓練人形 (乳児)	26
心肺蘇生訓練人形 (乳児)	20
心肺蘇生訓練人形 (幼児)	26
心肺蘇生訓練人形 (成人)	40
心肺蘇生訓練人形 (成人半身)	115
心肺蘇生訓練人形 (ミニアン)	139
自動体外式除細動器 (AED) トレーナー	151

医 療 事 業

1. 病院別の診療科目及び病床数

区 分	診 療 科 目	許可病床数
長野赤十字病院	内科、血液内科、呼吸器内科、感染症内科、腎臓内科、消化器内科、腫瘍内科、循環器内科、神経内科、糖尿病・内分泌内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、肝胆膵外科、心臓血管外科、脳神経外科、アレルギー科、小児科、産婦人科、婦人腫瘍科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、形成外科、眼科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、皮膚科、泌尿器科、精神科、小児外科、歯科口腔外科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、救急科、病理診断科、臨床検査科 (38科)	一 般 635 精 神 45 計 680
諏訪赤十字病院	内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、精神科、脳神経内科、リウマチ・膠原病内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、小児科、外科、乳腺・内分泌外科、消化器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、頭頸部・耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科 (32科)	一 般 425 精 神 30 計 455
安曇野赤十字病院	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、外科、心臓血管外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科、麻酔科 (24科)	一 般 316
飯山赤十字病院	内科、外科、脳神経外科、眼科、小児科、整形外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、精神科、泌尿器科、放射線科、形成外科、リハビリテーション科、呼吸器科、麻酔科、脳神経内科、循環器科、消化器科、心療内科、救急科 (21科)	一 般 244 療養型 44 計 288
下伊那赤十字病院	内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、消化器外科、肛門外科 (14科)	一 般 66 療養型 6 計 72 介護医療院 34 計 34
川西赤十字病院	内科、消化器科、循環器科、リウマチ科、外科、眼科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、小児科 (10科)	一 般 51 療養型 33 計 84
合 計		一 般 1,737 精 神 75 療養型 83 計 1,895 介護医療院 34 計 34

2. 主な施設基準及び特殊診療等指定状況

指定区分	病 院 名					
	長野	諏訪	安曇野	飯山	下伊那	川西
急性期一般入院料 1	○	○	○	○		
急性期一般入院料 4					○	○
急性期一般入院料 5						
D P C 対象病院	○	○	○	○		
救命救急センター	○	○				
救急告示病院	○	○	○	○	○	○
エイズ拠点病院	○	○				
エイズ協力病院			○			
がん診療連携拠点病院	○	○				
地域周産期母子医療センター	○	○				
災害拠点病院	○					
基幹災害拠点病院						
地域災害拠点病院		○	○			
地域医療支援病院	○	○	○			
へき地医療拠点病院				○		
訪問看護ステーション	○	○	○	○	○	○
訪問リハビリテーション	○		○	○	○	○
通所リハビリテーション				○	○	
指定居宅介護支援事業者	○	○	○	○	○	○
医療保険適用療養病床				44 床	6 床	33 床
介護保険適用療養病床						8 床
回復期リハビリテーション病棟			45 床	60 床		
地域包括ケア病床			44 床	120 床	34 床	41 床
I C U 病床	12 床	8 床				
H C U 病床	10 床	8 床	8 床	0 床		
透析病床	50 床	38 床	26 床	25 床	17 床	
介護医療院					34 床	
臨床研修指定病院	基幹型	○	○	○		
	協力型	○	○	○	○	
	協力施設					○
病院機能評価認定病院	○	○	○			

看護師養成事業

1. 看護師養成の状況

区 分	1 学年 (人)	2 学年 (人)	3 学年 (人)	合 計 (人)
諏訪赤十字看護専門学校	31	30	27	88
(前 年 度)	(31)	(27)	(37)	(95)

2. 長野県支部長推薦による日本赤十字豊田看護大学在学状況

区 分	令和3年度 入 学 生 (人)	令和4年度 入 学 生 (人)	令和5年度 入 学 生 (人)	令和6年度 入 学 生 (人)	合 計 (人)
長野赤十字病院	0	0	0	0	0
諏訪赤十字病院	6	3	1	0	10
安曇野赤十字病院	0	0	0	1	1
飯山赤十字病院	0	1	0	1	2
下伊那赤十字病院	0	0	0	0	0
川西赤十字病院	0	1	0	0	1
合 計	6	5	1	2	14

血液事業

1. 血液センター別の供給本数

種別 区分	全血 (本)	赤血球 (本)	血漿 (本)	血小板 (本)	合計 (本)
長野センター	0	18,032	3,441	4,027	25,500
	(0)	(35,975)	9,386	40,481	85,842
松本事業所	0	23,669	8,044	6,885	38,598
	(0)	(46,253)	(17,563)	(69,580)	(133,396)
計	0	41,701	11,485	10,912	64,098
	(0)	(82,228)	(26,949)	(110,061)	(219,238)
前年度	0	42,464	10,664	10,998	64,126
	(0)	(83,646)	(24,499)	(110,565)	(218,710)

() 内は 200mL 献血に換算した本数

2. 血液型別複数回献血クラブ「ラブラッド」会員数

区分	A型(人)	O型(人)	B型(人)	AB型(人)	合計(人)
登録者数(人)	15,311(125)	13,101(124)	9,657(87)	4,268(47)	42,337(383)
前年度(人)	15,858(128)	13,613(131)	9,990(95)	4,505(47)	43,966(401)

() 内はRh(-)を再掲

3. 原料血漿の確保状況

区分	確保目標量(ℓ)	確保量(ℓ)	達成率(%)
令和5年度	23,108	22,934	99.2
	(全国：1,200,000)	(1,234,183)	(102.8)
前年度	24,579	23,629	96.1
	(全国：1,253,000)	(1,259,167)	(100.5)

1 沿革	明治22年(1889年) 長野委員部設置 明治23年(1890年) 長野支部に改称 昭和27年(1952年) 長野県支部に改称																												
2 支援者	個人 252,681人 法人 5,152法人 合計 257,833																												
3 本社理事	1人																												
4 本社代議員	6人																												
5 支部評議員	40人																												
6 支部役員	支部長 阿部守一 副支部長 関昇一郎 花岡利夫 羽田健一郎 監査委員 牛越徹 貴舟豊 柳澤勇																												
7 有功会員	個人 116人 法人 73社 合計 189																												
8 青少年赤十字	210校 45,168人																												
	<table border="1"> <tr> <td>小 学 校</td> <td>66校</td> <td>19,900人</td> </tr> <tr> <td>中 学 校</td> <td>73</td> <td>21,181</td> </tr> <tr> <td>高 等 学 校</td> <td>69</td> <td>4,049</td> </tr> <tr> <td>盲 学 校</td> <td>2</td> <td>38</td> </tr> </table>	小 学 校	66校	19,900人	中 学 校	73	21,181	高 等 学 校	69	4,049	盲 学 校	2	38																
小 学 校	66校	19,900人																											
中 学 校	73	21,181																											
高 等 学 校	69	4,049																											
盲 学 校	2	38																											
9 赤十字奉仕団	89団 23,144人																												
	<table border="1"> <tr> <td>地 域</td> <td>77団</td> <td>22,281人</td> </tr> <tr> <td>青 年</td> <td>3</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>特 殊</td> <td>9</td> <td>764</td> </tr> </table>	地 域	77団	22,281人	青 年	3	99	特 殊	9	764																			
地 域	77団	22,281人																											
青 年	3	99																											
特 殊	9	764																											
10 講習普及活動(令和5年度)																													
	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>講習回数</th> <th>受講者数</th> <th>指導者数</th> </tr> <tr> <td>救 急 法</td> <td>644回</td> <td>14,016人</td> <td>229人</td> </tr> <tr> <td>水上安全法</td> <td>1</td> <td>15</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>健康生活支援</td> <td>32</td> <td>876</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>幼児安全法</td> <td>55</td> <td>1,089</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>雪上安全法</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>732</td> <td>15,996</td> <td>399</td> </tr> </table>		講習回数	受講者数	指導者数	救 急 法	644回	14,016人	229人	水上安全法	1	15	10	健康生活支援	32	876	85	幼児安全法	55	1,089	73	雪上安全法	0	0	2	合 計	732	15,996	399
	講習回数	受講者数	指導者数																										
救 急 法	644回	14,016人	229人																										
水上安全法	1	15	10																										
健康生活支援	32	876	85																										
幼児安全法	55	1,089	73																										
雪上安全法	0	0	2																										
合 計	732	15,996	399																										
11 国際活動																													
	<table border="1"> <tr> <td>アジア・大洋州給水・衛生キット支援事業</td> <td>630千円</td> </tr> <tr> <td>パレスチナ難民支援事業</td> <td>840千円</td> </tr> <tr> <td>東アフリカ3か国地域保健強化事業</td> <td>630千円</td> </tr> </table>	アジア・大洋州給水・衛生キット支援事業	630千円	パレスチナ難民支援事業	840千円	東アフリカ3か国地域保健強化事業	630千円																						
アジア・大洋州給水・衛生キット支援事業	630千円																												
パレスチナ難民支援事業	840千円																												
東アフリカ3か国地域保健強化事業	630千円																												
12 災害救護																													
	<table border="1"> <tr> <td>医 療 救 護 班</td> <td>常備 16班 108人</td> </tr> <tr> <td>無 線 局</td> <td>109局</td> </tr> <tr> <td>救 護 車 両</td> <td>52台</td> </tr> <tr> <td>救護物資備蓄倉庫</td> <td>長野市・松本市・上田市・岡谷市・須坂市・小諸市・伊那市・駒ヶ根市・中野市・大町市・佐久市・千曲市・東御市・小海町(2)・軽井沢・富士見町・辰野町・平谷村・喬木村・天龍村・木曾町・池田町・各赤十字施設 計 30カ所</td> </tr> <tr> <td>救援物資備蓄状況</td> <td>毛布 20,897枚 安眠シート 10,119個 緊急シート 5,877個 炊飯キット 2,790枚</td> </tr> </table>	医 療 救 護 班	常備 16班 108人	無 線 局	109局	救 護 車 両	52台	救護物資備蓄倉庫	長野市・松本市・上田市・岡谷市・須坂市・小諸市・伊那市・駒ヶ根市・中野市・大町市・佐久市・千曲市・東御市・小海町(2)・軽井沢・富士見町・辰野町・平谷村・喬木村・天龍村・木曾町・池田町・各赤十字施設 計 30カ所	救援物資備蓄状況	毛布 20,897枚 安眠シート 10,119個 緊急シート 5,877個 炊飯キット 2,790枚																		
医 療 救 護 班	常備 16班 108人																												
無 線 局	109局																												
救 護 車 両	52台																												
救護物資備蓄倉庫	長野市・松本市・上田市・岡谷市・須坂市・小諸市・伊那市・駒ヶ根市・中野市・大町市・佐久市・千曲市・東御市・小海町(2)・軽井沢・富士見町・辰野町・平谷村・喬木村・天龍村・木曾町・池田町・各赤十字施設 計 30カ所																												
救援物資備蓄状況	毛布 20,897枚 安眠シート 10,119個 緊急シート 5,877個 炊飯キット 2,790枚																												
13 看護師等養成																													
	<table border="1"> <tr> <td>看護専門学校</td> <td>在校者数</td> </tr> <tr> <td>諏訪赤十字看護専門学校</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>88</td> </tr> </table>	看護専門学校	在校者数	諏訪赤十字看護専門学校	88	合 計	88																						
看護専門学校	在校者数																												
諏訪赤十字看護専門学校	88																												
合 計	88																												

14 医療事業																																																								
	<table border="1"> <tr> <th>病 院</th> <th>病床数</th> <th>介護医療院</th> </tr> <tr> <td>長野赤十字病院</td> <td>680床</td> <td>0床</td> </tr> <tr> <td>諏訪赤十字病院</td> <td>455</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>安曇野赤十字病院</td> <td>316</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>飯山赤十字病院</td> <td>288</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>下伊那赤十字病院</td> <td>72</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>川西赤十字病院</td> <td>84</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,895</td> <td>34</td> </tr> </table>	病 院	病床数	介護医療院	長野赤十字病院	680床	0床	諏訪赤十字病院	455	0	安曇野赤十字病院	316	0	飯山赤十字病院	288	0	下伊那赤十字病院	72	34	川西赤十字病院	84	0	合 計	1,895	34																															
病 院	病床数	介護医療院																																																						
長野赤十字病院	680床	0床																																																						
諏訪赤十字病院	455	0																																																						
安曇野赤十字病院	316	0																																																						
飯山赤十字病院	288	0																																																						
下伊那赤十字病院	72	34																																																						
川西赤十字病院	84	0																																																						
合 計	1,895	34																																																						
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">受入患者数(令和5年度)</th> <th>1日平均</th> </tr> <tr> <td>入 院</td> <td>554,106人</td> <td>1,513人</td> </tr> <tr> <td>外 来</td> <td>817,363</td> <td>3,375</td> </tr> </table>	受入患者数(令和5年度)		1日平均	入 院	554,106人	1,513人	外 来	817,363	3,375																																														
受入患者数(令和5年度)		1日平均																																																						
入 院	554,106人	1,513人																																																						
外 来	817,363	3,375																																																						
15 血液事業																																																								
	<table border="1"> <tr> <td>血液センター</td> </tr> <tr> <td>長野県赤十字血液センター</td> </tr> <tr> <td>問御所出張所「長野献血ルーム」</td> </tr> <tr> <td>松本事業所</td> </tr> <tr> <td>松本公園通り出張所「松本献血ルーム」</td> </tr> </table>	血液センター	長野県赤十字血液センター	問御所出張所「長野献血ルーム」	松本事業所	松本公園通り出張所「松本献血ルーム」																																																		
血液センター																																																								
長野県赤十字血液センター																																																								
問御所出張所「長野献血ルーム」																																																								
松本事業所																																																								
松本公園通り出張所「松本献血ルーム」																																																								
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">献血者数(令和5年度)</th> <th colspan="2">供給本数(令和5年度)</th> </tr> <tr> <td>成分献血</td> <td>24,588人</td> <td>全 血</td> <td>0本</td> </tr> <tr> <td>400ml献血</td> <td>50,117</td> <td>赤血球</td> <td>41,701</td> </tr> <tr> <td>200ml献血</td> <td>965</td> <td>血 漿</td> <td>11,485</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>75,670</td> <td>血小板</td> <td>10,912</td> </tr> </table>	献血者数(令和5年度)		供給本数(令和5年度)		成分献血	24,588人	全 血	0本	400ml献血	50,117	赤血球	41,701	200ml献血	965	血 漿	11,485	合 計	75,670	血小板	10,912																																			
献血者数(令和5年度)		供給本数(令和5年度)																																																						
成分献血	24,588人	全 血	0本																																																					
400ml献血	50,117	赤血球	41,701																																																					
200ml献血	965	血 漿	11,485																																																					
合 計	75,670	血小板	10,912																																																					
16 社会福祉施設																																																								
	<table border="1"> <tr> <th>児童福祉施設</th> <th>在所者数</th> </tr> <tr> <td>松本赤十字乳児院</td> <td>15人</td> </tr> </table>	児童福祉施設	在所者数	松本赤十字乳児院	15人																																																			
児童福祉施設	在所者数																																																							
松本赤十字乳児院	15人																																																							
17 職員数																																																								
	<table border="1"> <tr> <th>病 院</th> <th>医 師</th> <th>看護師</th> <th>その他職員</th> <th>合 計</th> </tr> <tr> <td>長野県支部</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>14人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>長野赤十字病院</td> <td>198</td> <td>800</td> <td>392</td> <td>1,390</td> </tr> <tr> <td>諏訪赤十字病院</td> <td>128</td> <td>585</td> <td>428</td> <td>1,141</td> </tr> <tr> <td>安曇野赤十字病院</td> <td>53</td> <td>278</td> <td>257</td> <td>588</td> </tr> <tr> <td>飯山赤十字病院</td> <td>21</td> <td>169</td> <td>183</td> <td>373</td> </tr> <tr> <td>下伊那赤十字病院</td> <td>11</td> <td>72</td> <td>56</td> <td>139</td> </tr> <tr> <td>川西赤十字病院</td> <td>5</td> <td>54</td> <td>47</td> <td>106</td> </tr> <tr> <td>長野県赤十字血液センター</td> <td>5</td> <td>40</td> <td>89</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>松本赤十字乳児院</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>29</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>421</td> <td>2,003</td> <td>1,495</td> <td>3,919</td> </tr> </table>	病 院	医 師	看護師	その他職員	合 計	長野県支部	0人	0人	14人	14人	長野赤十字病院	198	800	392	1,390	諏訪赤十字病院	128	585	428	1,141	安曇野赤十字病院	53	278	257	588	飯山赤十字病院	21	169	183	373	下伊那赤十字病院	11	72	56	139	川西赤十字病院	5	54	47	106	長野県赤十字血液センター	5	40	89	134	松本赤十字乳児院	0	5	29	34	合 計	421	2,003	1,495	3,919
病 院	医 師	看護師	その他職員	合 計																																																				
長野県支部	0人	0人	14人	14人																																																				
長野赤十字病院	198	800	392	1,390																																																				
諏訪赤十字病院	128	585	428	1,141																																																				
安曇野赤十字病院	53	278	257	588																																																				
飯山赤十字病院	21	169	183	373																																																				
下伊那赤十字病院	11	72	56	139																																																				
川西赤十字病院	5	54	47	106																																																				
長野県赤十字血液センター	5	40	89	134																																																				
松本赤十字乳児院	0	5	29	34																																																				
合 計	421	2,003	1,495	3,919																																																				
18 会 計(令和4年度決算)																																																								
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">一般会計(支部)</th> <th>収入</th> <th>384,183千円</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>支出</th> <th>364,317</th> </tr> <tr> <td rowspan="6">特別会計</td> <td rowspan="2">医療施設</td> <td>収入</td> <td>62,975,565</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>61,154,371</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">社会福祉施設</td> <td>収入</td> <td>314,325</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>247,175</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>収入</td> <td>63,289,890</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>支出</td> <td>61,401,546</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>収入</td> <td>63,674,073</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>支出</td> <td>61,765,863</td> </tr> </table>	一般会計(支部)		収入	384,183千円			支出	364,317	特別会計	医療施設	収入	62,975,565	支出	61,154,371	社会福祉施設	収入	314,325	支出	247,175	合 計		収入	63,289,890			支出	61,401,546	合 計		収入	63,674,073			支出	61,765,863																				
一般会計(支部)		収入	384,183千円																																																					
		支出	364,317																																																					
特別会計	医療施設	収入	62,975,565																																																					
		支出	61,154,371																																																					
	社会福祉施設	収入	314,325																																																					
		支出	247,175																																																					
	合 計		収入	63,289,890																																																				
			支出	61,401,546																																																				
合 計		収入	63,674,073																																																					
		支出	61,765,863																																																					

日本赤十字社現勢

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

日本赤十字社スローガン 人間を救うのは、人間だ。

赤十字の基本原則 人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

1949年のジュネーブ四条約締結国

196カ国

世界の赤十字社・赤新月社等

(発行日(令和5年7月3日)現在)

191社

1. 沿革

明治10年(1877) 5月1日 博愛社設立
明治20年(1887) 5月20日 日本赤十字社に改称
昭和27年(1952) 8月14日 日本赤十字社法制定

2. 名誉総裁・名誉副総裁

名誉総裁 皇后陛下
名誉副総裁 秋篠宮皇嗣妃殿下
常陸宮殿下・同妃華子殿下
三笠宮妃百合子殿下 寛仁親王妃信子殿下
高円宮妃久子殿下

3. 会員

個人 20.1万人
(令和5年3月31日現在) 法人 8.1万法人

4. 評議員

2,004人

5. 代議員

223人

6. 役員

社長 清家 篤(常勤)
副社長 鈴木 俊彦(常勤) 十倉 雅和(非常勤)
理事 61人(常勤5人、非常勤56人)
監事 3人(常勤1人、非常勤2人)

7. 青少年赤十字(令和5年3月31日現在)

幼稚園・保育所等	1,780校	147,304人
小学校	7,099校	1,947,234人
中学校	3,459校	973,227人
高等学校	1,753校	370,874人
特別支援学校	210校	20,279人
その他	137校	35,237人
計	14,438校	3,494,155人
指導者	288,355人	

8. 赤十字ボランティア(令和5年3月31日現在)

地域赤十字奉仕団	2,088団	806,027人
青年赤十字奉仕団	150団	5,111人
特殊赤十字奉仕団	622団	28,566人
個人ボランティア等	-	11,130人
計	2,860団	850,834人

9. 救急法等の講習

資格登録者数(令和5年3月31日現在)	受講者数(令和4年度)		
	指導者	救急員等	
救急法基礎講習	10,765人	273,336人	33,611人
救急法	6,827人	148,147人	262,265人
水上安全法	1,465人	11,361人	30,167人
雪上安全法	203人	1,220人	367人
幼児安全法	2,270人	21,988人	46,386人
健康生活支援講習	1,709人	15,349人	30,059人
計	23,239人	471,401人	402,855人

10. 看護師等の教育

施設数	一学年養成定員	
大学(大学院併設)	6	看護師 16校 1,145人
短期大学	1	助産師 6校 88人
看護専門学校	10	保健師 6校 149人
助産師学校	1	幹部看護師 1校 120人
幹部看護師研修センター	1	介護福祉士 1校 30人
計	19	

11. 国際活動

国際救援・開発要員派遣(令和4年度)	16カ国	のべ61人
国際赤十字・赤新月社連盟出向	2人(スイス、マレーシア)	
国際活動費(令和4年度)		78億円

12. 国内災害救護

救護員数	8,077人(常備救護班要員を含む)	
常備救護班	487班	5,231人
無線局	(令和5年3月31日現在) 3,130局	
救護車両	2,206台	
赤十字飛行隊(特殊奉仕団)	99人	
災害における救護員出動数(令和4年度)	244人	
救援物資配分数(毛布・安眠セット・緊急セット)(令和4年度)	11,314個	
令和4年度受付義援金額(令和5年3月31日現在)	6億2,424万3,358円	

13. 医療事業

施設数		
病院	診療所	5
	老人保健施設	4
	介護医療院	5
病床総数	34,777床(令和5年3月31日現在)	
総患者数(令和4年度)		1日平均
入院	951万人	2.6万人
外来	1,600万人	6.5万人

14. 血液事業

施設数		
地域血液センター	47	ブロック血液センター 7
附属施設	169	附属施設(製造所) 4
(献血ルーム116を含む)		分室 1
献血者数(令和4年度)		供給本数(令和4年度)
成分献血	158万人	輸血用製剤 1,724万本
400mL献血	330万人	車両台数(令和5年3月31日現在)
200mL献血	12万人	献血運搬車 769台
計	501万人	移動採血車 282台

15. 社会福祉事業

児童福祉施設数(定員)		
乳児院	8(291)	医療型障害児入所施設 3(286)
保育所	3(348)	
児童養護施設	1(40)	
老人福祉施設数(定員)		
特別養護老人ホーム(併設ケアハウス20人を含む) 8(773)		
障害者福祉施設数(定員)	複合型施設	1(定員)
障害者支援施設	1(50)	特別養護老人ホーム (110)
視聴覚障害者情報提供施設	2	介護老人保健施設 (100)
補装具製作施設	1	高齢者グループホーム (18)
		障害者支援施設 (10)

16. 職員数(施設数)

職員数	
本社(1)	538人
支部(47)	721人
医療事業(116)	59,091人
血液事業(228)	5,819人
社会福祉事業(28)	1,234人
計	67,403人

17. 会計(令和5年度当初予算)

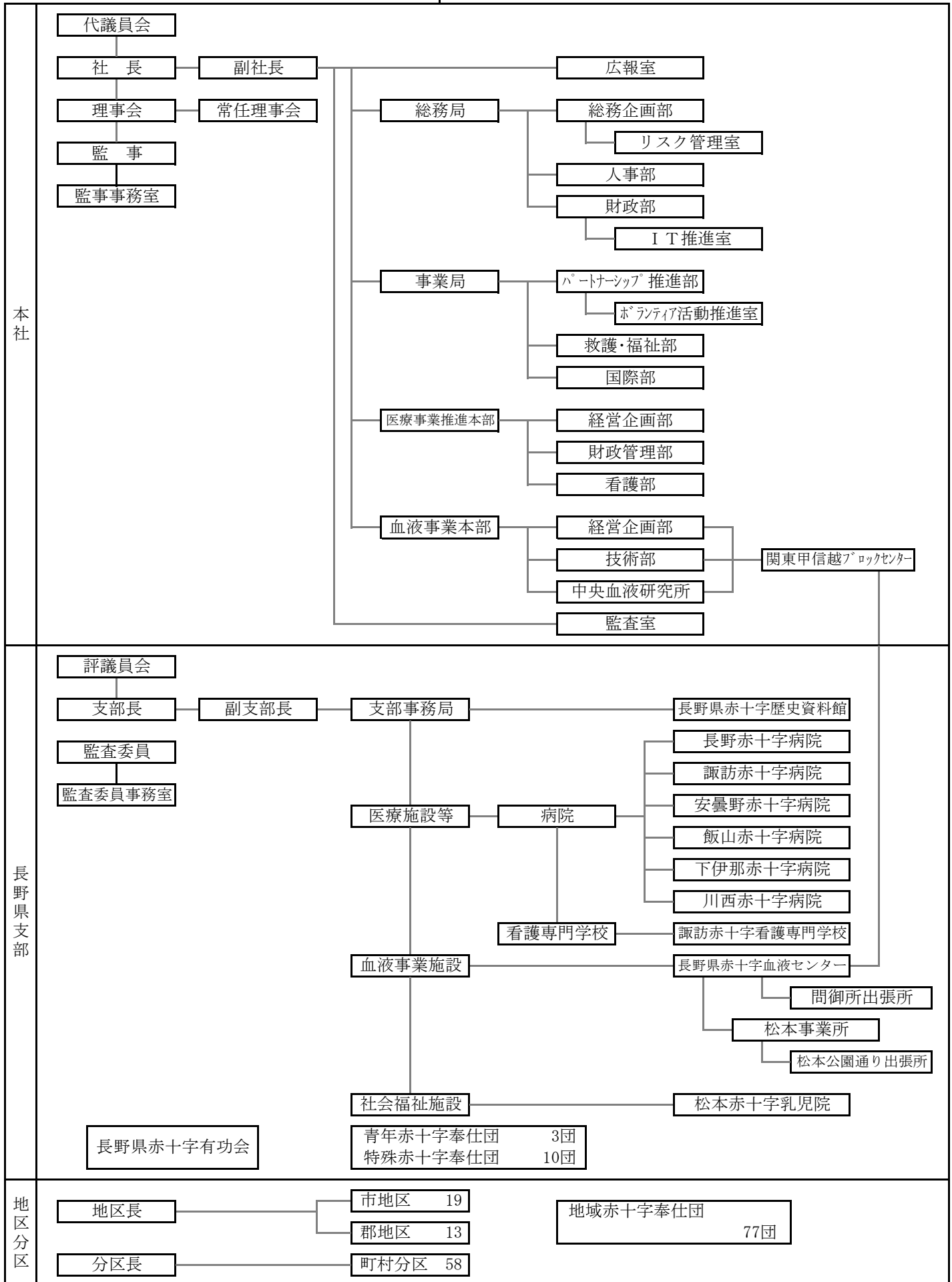
一般会計	本社	147億8千万円
	支部	211億8千万円
医療施設特別会計		1兆1,940億7千万円
血液事業特別会計		1,630億2千万円
社会福祉施設特別会計		159億4千万円

(特に断りのない統計数字等は、令和5年4月1日現在)

日本赤十字社の機構

(令和6年4月1日現在)

日本赤十字社支援者(会員・協力会員等)



日本赤十字社長野県支部役員名簿

(令和6年4月1日現在)

役職名	氏名	公職名	役職名	氏名	公職名
支部長	阿部 守一	長野県知事	評議員	荻原 健司	長野市長
副支部長	関 昇一郎	長野県副知事		寺田 裕明	長野市社会福祉協議会長
	花岡 利夫	長野県市長会長		臥雲 義尚	松本市長
	羽田 健一郎	長野県町村会長		土屋 陽一	上田市長
監査委員	牛越 徹	大町市長		早出 一真	岡谷市長
	貴舟 豊	大桑村長		佐藤 健	飯田市長
	柳澤 勇	前長野県立病院機構監事		金子 ゆかり	諏訪市長
参 与	笹渕 美香	県健康福祉部長		三木 正夫	須坂市長
	前沢 直隆	県危機管理部長		小泉 俊博	小諸市長
	福田 雄一	県市長会事務局長		白鳥 孝	伊那市長
	原山 幸治	県町村会事務局長		伊藤 祐三	駒ヶ根市長
評議員	黒澤 弘	小海町長		湯本 隆英	中野市長
	両角 正芳	立科町長		牛越 徹	大町市長
	北村 政夫	青木村長		江沢 岸生	飯山市長
	宮坂 徹	下諏訪町長		今井 敦	茅野市長
	武居 保男	辰野町長		百瀬 敬	塩尻市長
	市瀬 直史	喬木村長		柳田 清二	佐久市長
	貴舟 豊	大桑村長		小川 修一	千曲市長
	小林 弘幸	朝日村長		花岡 利夫	東御市長
	須沢 和彦	松川村長		太田 寛	安曇野市長
	山村 弘	坂城町長		三木 正夫	県社会福祉協議会長
	桜井 昌季	小布施町長		伊藤 篤志	県民生委員児童委員協議会連合会長
	平澤 岳	山ノ内町長		碓井 稔	県経営者協会会長
	染野 隆嗣	小川村長		中條 智子	県連合婦人会長
				岡田 敏子	赤十字奉仕団県支部委員長
				井出 誠一	県青少年赤十字指導者協議会長
		浅井 隆彦		県赤十字有功会長	

○ 本社役員

役職名	氏名	公職名	役職名	氏名	公職名
理 事	花岡 利夫	東御市長	代議員	岡田 敏子	赤十字奉仕団県支部委員長
代議員	花岡 利夫	東御市長		福島 朝雄	県赤十字救護隊長
	羽田 健一郎	長和町長		堀込 明紀	青少年赤十字賛助奉仕団委員長
	石井 和男	前県赤十字有功会長			

地区分区住所録
(市町村の赤十字事務局)

(令和6年7月1日現在)

地区	分区	〒	住 所	TEL
長野市		380-0813	長野市大字鶴賀緑町 1714-5 長野市社会福祉協議会 総務課	026-225-1234
松本市		390-0833	松本市双葉 4-16 松本市社会福祉協議会 地域福祉課	0263-27-3381
上田市		386-8601	上田市大手一丁目 11 番 16 号 上田市役所 福祉課 庶務施設係	0268-71-8081
岡谷市		394-8510	岡谷市幸町 8 番 1 号 岡谷市役所 健康福祉部 社会福祉課	0266-23-4811
飯田市		395-8501	飯田市大久保町 2534 飯田市役所 危機管理部 危機管理課 防災係	0265-22-4511
諏訪市		392-8511	諏訪市高島一丁目 22 番地 30 号 諏訪市役所 社会福祉課 社会係	0266-52-4141
須坂市		382-0074	須坂市大字須坂 476-1 須坂市社会福祉協議会 助け合い起こし推進係	026-214-2994
小諸市		384-0006	小諸市与良町六丁目 5 番 1 号 小諸市社会福祉協議会	0267-25-7337
伊那市		396-8617	伊那市下新田 3050 伊那市役所 保健福祉部 社会福祉課 総務係	0265-78-4111
駒ヶ根市		399-4192	駒ヶ根市赤須町 20 番 1 号 駒ヶ根市役所 福祉課 社会福祉係	0265-83-2111
中野市		383-0042	中野市西条 70-1 中野市社会福祉協議会	0269-26-3111
大町市		398-8601	大町市大町 3887 大町市役所 福祉課 庶務係	0261-22-0420
飯山市		389-2292	飯山市大字飯山 1110-1 飯山市役所 保健福祉課	0269-67-0727
茅野市		391-8501	茅野市塚原二丁目 6 番 1 号 茅野市役所 地域福祉課 福祉 21 推進係	0266-72-2101
塩尻市		399-0786	塩尻市大門七番町 3 番 3 号 塩尻市役所 福祉課	0263-52-0280
佐久市		385-0011	佐久市猿久保 249-2 佐久市社会福祉協議会 福祉課 地域福祉係	0267-67-2463

地区分区住所録
(市町村の赤十字事務局)

(令和6年7月1日現在)

地区	分区	〒	住 所	TEL
千曲市		387-8511	千曲市杭瀬下二丁目1 千曲市役所 福祉課 地域福祉係	026-273-1111
東御市		389-0502	東御市鞍掛 197 東御市社会福祉協議会 総務係	0268-62-4455
安曇野市		399-8281	安曇野市豊科 6000 安曇野市役所 福祉部 福祉課 福祉政策担当	0263-71-2253
下伊那郡		395-0034	飯田市追手町二丁目 678 長野県飯田合同庁舎内 下伊那郡町村会	0265-22-0556
木曾郡		399-6101	木曾郡木曾町日義 4898-37 木曾郡町村会	0264-23-1070
南佐久郡	小海町	384-1103	南佐久郡小海町大字豊里 805 小海町社会福祉協議会	0267-92-4107
南佐久郡	佐久穂町	384-0613	南佐久郡佐久穂町大字高野町 351 佐久穂町社会福祉協議会	0267-86-4273
南佐久郡	川上村	384-1406	南佐久郡川上村原 312 川上村社会福祉協議会	0267-97-3522
南佐久郡	南牧村	384-1302	南佐久郡南牧村海ノ口 966-15 南牧村社会福祉協議会	0267-96-2363
南佐久郡	南相木村	384-1211	南佐久郡南相木村 3781-162 南相木村社会福祉協議会	0267-78-1001
南佐久郡	北相木村	384-1201	南佐久郡北相木村 2744 北相木村役場 住民福祉課	0267-77-2111
北佐久郡	軽井沢町	389-0111	北佐久郡軽井沢町大字長倉 4844-1 軽井沢町社会福祉協議会 地域福祉係	0267-45-8113
北佐久郡	御代田町	389-0206	北佐久郡御代田町御代田 1772-1 御代田町社会福祉協議会 福祉係	0267-32-1100
北佐久郡	立科町	384-2305	北佐久郡立科町芦田 2523 立科町社会福祉協議会	0267-56-1825
小県郡	長和町	386-0701	小県郡長和町和田 4253-1 長和町社会福祉協議会	0268-88-3069
小県郡	青木村	386-1601	小県郡青木村大字田沢 3231 青木村社会福祉協議会	0268-49-2129
諏訪郡	下諏訪町	393-8501	諏訪郡下諏訪町 4613-8 下諏訪町役場 保健福祉課 福祉係	0266-27-1111

地区分区住所録
(市町村の赤十字事務局)

(令和6年7月1日現在)

地区	分区	〒	住 所	TEL
諏訪郡	富士見町	399-0292	諏訪郡富士見町落合 10777 富士見町役場 住民福祉課 社会福祉係	0266-62-9144
諏訪郡	原村	391-0104	諏訪郡原村 6649-3 原村社会福祉協議会	0266-79-7228
上伊那郡	辰野町	399-0493	上伊那郡辰野町中央 1 辰野町役場 保健福祉課	0266-41-1111
上伊那郡	箕輪町	399-4695	上伊那郡箕輪町大字中箕輪 10298 箕輪町役場 福祉課 社会福祉係	0265-79-3162
上伊那郡	飯島町	399-3702	上伊那郡飯島町飯島 2551 飯島町社会福祉協議会	0265-86-5511
上伊那郡	南箕輪村	399-4592	上伊那郡南箕輪村 4825-1 南箕輪村役場 健康福祉課 福祉係	0265-72-2105
上伊那郡	中川村	399-3801	上伊那郡中川村大草 4038-1 中川村社会福祉協議会	0265-88-3552
上伊那郡	宮田村	399-4301	上伊那郡宮田村 6838-1 宮田村社会福祉協議会 総務係	0265-85-5010
下伊那郡	松川町	399-3303	下伊那郡松川町元大島 3823 松川町役場 保健福祉課	0265-36-7022
下伊那郡	高森町	399-3193	下伊那郡高森町下市田 2183-1 高森町役場 健康福祉課 福祉係	0265-35-9412
下伊那郡	阿南町	399-1511	下伊那郡阿南町東條 58-1 阿南町役場 民生課 福祉係	0260-22-4051
下伊那郡	阿智村	395-0303	下伊那郡阿智村駒場 483 阿智村役場 民生課 福祉係	0265-43-2220
下伊那郡	平谷村	395-0601	下伊那郡平谷村 383-1 平谷村社会福祉協議会	0265-48-2220
下伊那郡	根羽村	395-0701	下伊那郡根羽村 2131-1 根羽村社会福祉協議会	0265-49-2288
下伊那郡	下條村	399-2102	下伊那郡下條村陽阜 1 いきいきらんど下條内 下條村社会福祉協議会	0260-27-2858
下伊那郡	売木村	399-1609	下伊那郡売木村旭 688-1 売木村社会福祉協議会	0260-28-2004
下伊那郡	天龍村	399-1201	下伊那郡天龍村平岡 878 天龍村役場 健康福祉課	0260-32-1021

地区分区住所録
(市町村の赤十字事務局)

(令和6年7月1日現在)

地区	分区	〒	住 所	TEL
下伊那郡	泰阜村	399-1895	下伊那郡泰阜村 3236-1 泰阜村役場 住民福祉課	0260-26-2111
下伊那郡	喬木村	395-1100	下伊那郡喬木村 6664 喬木村役場 保健福祉課	0265-33-5123
下伊那郡	豊丘村	399-3295	下伊那郡豊丘村神稲 3120 豊丘村役場 健康福祉課 福祉係	0265-35-9060
下伊那郡	大鹿村	399-3502	下伊那郡大鹿村大字大河原 354 大鹿村役場 住民税務課	0265-39-2001
木曽郡	上松町	399-5601	木曽郡上松町大字上松 159-4 上松町役場 住民福祉課 福祉係	0264-52-5550
木曽郡	南木曽町	399-5301	木曽郡南木曽町読書 3668-1 南木曽町役場 住民課	0264-57-2001
木曽郡	木曽町	397-8588	木曽郡木曽町福島 2326-6 木曽町役場 保健福祉課 福祉係	0264-22-4035
木曽郡	木祖村	399-6201	木曽郡木祖村藪原 1191-30 幸せテラスまめのわ内 木祖村社会福祉協議会	0264-36-3441
木曽郡	王滝村	397-0201	木曽郡王滝村 2830-1 王滝村役場 福祉健康課 福祉係	0264-48-3155
木曽郡	大桑村	399-5503	木曽郡大桑村大字長野 2775-6 大桑村役場 福祉健康課 保健係	0264-55-4003
東筑摩郡	麻績村	399-7701	東筑摩郡麻績村麻 2787 麻績村社会福祉協議会	0263-67-3099
東筑摩郡	生坂村	399-7201	東筑摩郡生坂村 6271-1 生坂村社会福祉協議会	0263-69-3000
東筑摩郡	山形村	390-1301	東筑摩郡山形村 4520-1 山形村社会福祉協議会	0263-97-2102
東筑摩郡	朝日村	390-1188	東筑摩郡朝日村大字古見 1555-1 朝日村役場 住民福祉課	0263-99-2001
東筑摩郡	筑北村	399-7501	東筑摩郡筑北村西条 3507 筑北村社会福祉協議会	0263-66-2506
北安曇郡	池田町	399-8696	北安曇郡池田町大字池田 3203-6 池田町役場 総務課	0261-62-3131
北安曇郡	松川村	399-8501	北安曇郡松川村 64-1 保健センター内 松川村役場 福祉課 健康推進係	0261-62-3290

地区分区住所録
(市町村の赤十字事務局)

(令和6年7月1日現在)

地区	分区	〒	住 所	TEL
北安曇郡	白馬村	399-9301	北安曇郡白馬村大字北城 7025 白馬村社会福祉協議会	0261-72-7230
北安曇郡	小谷村	399-9421	北安曇郡小谷村大字中小谷丙 2544-3 小谷村社会福祉協議会	0261-82-2430
埴科郡	坂城町	389-0602	埴科郡坂城町大字中之条 2225 坂城町社会福祉協議会 地域福祉係	0268-82-2551
上高井郡	小布施町	381-0201	上高井郡小布施町大字小布施 860-1 小布施町社会福祉協議会 地域福祉課	026-242-6665
上高井郡	高山村	382-0821	上高井郡高山村大字牧 130-1 高山村社会福祉協議会	026-242-1220
北信	山ノ内町	381-0401	下高井郡山ノ内町平穏 3371-2 山ノ内町社会福祉協議会	0269-33-1105
北信	木島平村	389-2302	下高井郡木島平村大字往郷 908-3 木島平村社会福祉協議会	0269-82-4888
北信	野沢温泉村	389-2502	下高井郡野沢温泉村大字豊郷 9817 野沢温泉村社会福祉協議会	0269-85-4347
北信	栄村	389-2702	下水内郡栄村大字北信 3601-5 栄村社会福祉協議会	0269-87-3450
上水内郡	信濃町	389-1305	上水内郡信濃町大字柏原 429-17 信濃町社会福祉協議会	026-255-5926
上水内郡	飯綱町	389-1206	上水内郡飯綱町大字普光寺 920 飯綱町社会福祉協議会 地域福祉課	026-253-1001
上水内郡	小川村	381-3302	上水内郡小川村大字高府 8553 小川村社会福祉協議会	026-269-2255

赤十字施設一覧表（本社及び県内各施設）

日本赤十字社	〒105-8521 東京都港区芝大門 1-1-3 TEL (03)3438-1311 (代) E-Mail info@jrc.or.jp
日本赤十字社長野県支部 (長野県赤十字歴史資料館)	〒380-0836 長野市南県町 1074 TEL (026)226-2073 FAX (026)223-4181 E-Mail info@nagano.jrc.or.jp
長野赤十字病院	〒380-8582 長野市若里 5-22-1 TEL (026)226-4131 (代)
諏訪赤十字病院	〒392-8510 諏訪市湖岸通り 5-11-50 TEL (0266)52-6111 ~ 5
安曇野赤十字病院	〒399-8292 安曇野市豊科 5685 TEL (0263)72-3170
飯山赤十字病院	〒389-2295 飯山市飯山 226-1 TEL (0269)62-4195 ~ 7
下伊那赤十字病院	〒399-3303 下伊那郡松川町元大島 3159-1 TEL (0265)36-2255
川西赤十字病院	〒384-2292 佐久市望月 318 TEL (0267)53-3011 ~ 2
諏訪赤十字看護専門学校	〒392-0024 諏訪市小和田 23-27 TEL (0266)57-3275 内線 710
長野県赤十字血液センター	〒381-2214 長野市稲里町田牧 1288-1 TEL (026)214-8070
長野県赤十字血液センター 問御所出張所(長野献血ルーム)	〒380-0834 長野市問御所 1271-3 (トイーゴウエスト 2F) TEL (026)219-2480
長野県赤十字血液センター 松本事業所	〒390-0852 松本市大字島立 2174-1 TEL (0263)88-2650
長野県赤十字血液センター 松本公園通り出張所	〒390-0811 松本市中央 1-8-11 (ジブラルタ生命ビル 2F) TEL (0263)37-1600
松本赤十字乳児院	〒390-0803 松本市元町 3-8-10 TEL (0263)31-5203 (0263)34-2151 (テレフォン育児相談 専用) (0263)31-5206 (里親支援 専用)